National

この電気温水器は契約方法により、以下のいずれでも使用できます。

A 時間帯別料金対応通電制御型

B 深夜電力通電制御型

C 季節別時間帯別電灯契約通電制御型

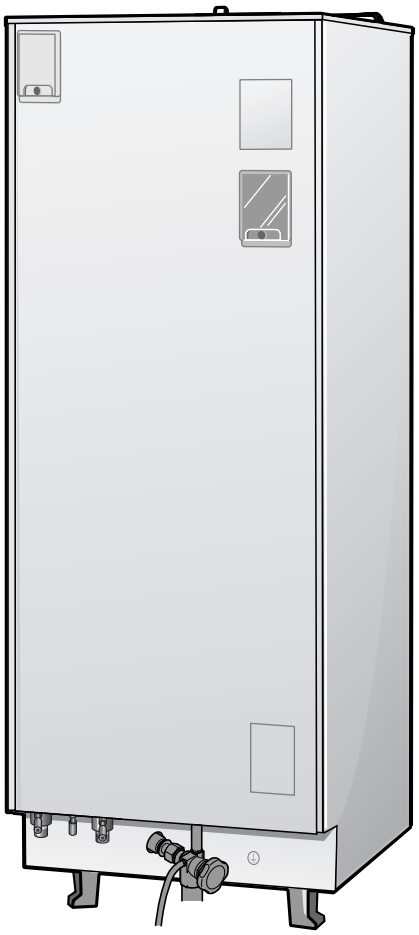
この電気温水器は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
買い替えの場合でもご使用の前に、電力会社または販売店にお問い合わせください。

追いだき機能付

フルオート(全自動)電気温水器

高圧力型 取扱説明書

	屋外専用型	屋内専用型
品番	DH-37G3QUB	DH-37G3QUBM
	DH-46G3QUB	DH-46G3QUBM



上手に使って上手に節電

保証書別添付

工事説明書
別添付

このたびは電気温水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- お買い上げの機種の品番は、本体のネームプレートまたは、保証書でご確認ください。
- この機種はBL認定品です。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

給湯圧力アップで使い勝手向上

- 従来の標準圧力型電気温水器より強いシャワーが楽しめます。
- お湯はり時間のスピードアップ。

お好みの給湯温度

- **給湯温度コントロール**
  リモコンで設定した温度のお湯が出湯しますので、お湯のむだを抑えます。

お湯がたっぷり

約90 ℃のお湯をタンクの上から沸き上げる**「積層沸き上げ方式」**により、昼間沸き増しができ、お湯をたっぷり使えます。
（「時間帯別料金対応通電制御型」「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」で契約の場合）

選べる沸き上げ湯量

- **時間帯別料金対応通電制御型**
  季節別時間帯別電灯契約通電制御型 **契約時**
  日々のお湯の使用に合わせて、沸き上げ湯量をおまかせ＋4段階に設定できます。
- **深夜電力通電制御型（8時間通電制御型）契約時**
  沸き上げ湯量はおまかせ＋2段階の設定となります。

ラクラク全自動

- リモコンのスイッチ操作でお風呂の**自動お湯はり、保温、自動足し湯**が可能。
- お好みの時間に入浴できる**予約タイマー**付。

消費電力量表示

前日の電力量と、前日までの積算電力量を昼間、夜間それぞれについて表示します。（表示はあくまでもめやすです。実際の電力量と異なる場合があります）

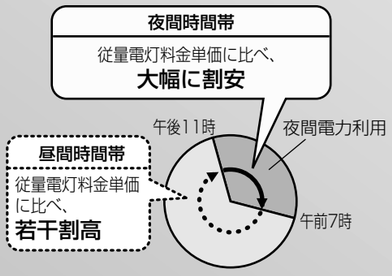
選べる電力料金契約

この電気温水器は電力会社との電力契約により次のいずれでも選ぶことができます。電力契約については電力会社にお問い合わせください。電気温水器の契約を変更したい場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一の備え 非常用水コック

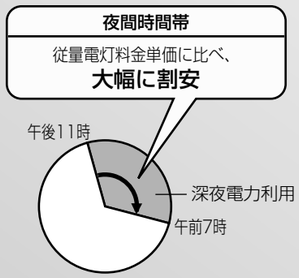
万一の災害時に備え非常用水コックを標準装備。まさかの時には、タンクの水を生活用水として使うことができます。

A 時間帯別料金対応通電制御型



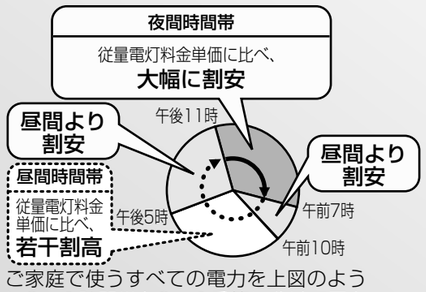
ご家庭で使うすべての電力を、時間帯別電灯専用の積算電力で上図のように2つの時間帯に分けて電力料金を算定します。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。

B 深夜電力通電制御型



翌日使用するお湯を夜11時から翌朝7時までの間の深夜電力通電時間帯で沸き上げます。
（電力会社によって深夜電力通電時間帯は異なる場合があります。）

C 季節別時間帯別電灯契約通電制御型



ご家庭で使うすべての電力を上図のように3つの時間帯と2つの季節に分けて電力料金を算定します。
※電力会社によっては、2つの時間帯と2つの季節に分ける場合もあります。
※料金の目安や通電時間帯は地域により異なります。
※電気温水器は季節区分の判断はできません。

高圧力型とは

「労働安全衛生法施工令」の改正（平成10年12月）により、小型ボイラー規制が改正され、電気温水器の最高使用水圧が変更されて従来の100 kPaから200 kPaまでの使用が可能となりました。
これにより、給湯・シャワーの使い勝手（特に2階給湯時）が向上します。
ただし、一般家庭以外（事業所設置等）でご使用の場合は、改正にともない、規定事項が義務付けられています。（☞56～57ページ）

台所と通話ができる（コミュニケーションリモコンのみ）

- **ワンタッチ通話機能**
- **浴室リモコンのスイッチを押すだけ。**

本文中に出てくる「♪」「 」の表示は次のことを意味します。

♪ 【メロディーでお知らせ】

【声でお知らせ】

この取扱説明書はボイスリモコン、コミュニケーションリモコンで説明しています。共通する説明のイラストは、コミュニケーションリモコンで説明しています。

ボイスリモコン（別販品品番：DH-RQV3W）

＜浴室リモコン＞
品番：DH-RQV3S

＜台所リモコン＞
品番：DH-RQV3M

コミュニケーションリモコン（別販品品番：DH-RQC3W）

＜浴室リモコン＞
品番：DH-RQC3S

＜台所リモコン＞
品番：DH-RQC3M

もくじ

- ●安全上のご注意 ……4
- ●各部のなまえ ……7
  - 電気温水器本体 ……7
  - 本体周辺 ……8
  - 台所リモコン ……10
  - 浴室リモコン ……12
- ●早見表　おもな使いかた ……14
- ●ご使用前の準備 ……16
  - 本体の準備 ……16
  - 現在時刻の設定のしかた ……18
  - 沸き上げ湯量の設定のしかた ……19
  - 沸き上げ湯量の選びかた ……20
  - 沸き増しについて ……21
  - 「おまかせ」運転について ……22
  - 残湯量の設定について ……22
- ●使用上のお願いとお知らせ ……23
- ●知っておいてください ……24

- ●リモコンによる各種設定切換のしかた ……25
- ●台所リモコンによる各種設定切換のしかた ……26
- ●浴室リモコンによる各種設定切換のしかた ……28
- ●お湯をつかう ……31
  - 台所・洗面所でお湯を使う ……31
  - 浴室でお湯・シャワーを使う ……32
- ●おふろに入る ……33
  - ふろ温度とふろ湯量（水位）の設定のしかた ……33
  - お湯はりのしかた ……34
  - お湯はりの予約のしかた ……35
  - 入浴中の湯かげん調節のしかた ……36
  - 入浴中に湯量を多くする ……37
  - ふろ自動運転について ……37
  - ふろ自動運転時間の変更のしかた ……38
  - 浴室リモコンの呼び出しについて ……38
  - 入浴剤について ……38
  - 自動配管洗浄の変更のしかた ……39

＜コミュニケーションリモコンのみ＞

- ●通話のしかた ……40
  - 浴室リモコンから通話する場合 ……40
  - 台所リモコンから通話する場合 ……41
- ●音声モニターのしかた ……42
- ●音声モニター禁止のしかた ……42
- ●音声モニター・通話の音量設定のしかた ……43

- ●点検とお手入れ ……44
  - 日常のお手入れ ……44
  - 1ヵ月に1回のお手入れ ……44
  - ふろ配管の洗浄（6ヵ月に1回） ……46
  - 停電したときは ……47
  - 断水したときは ……47
  - 長期間使用しないときは（1ヵ月以上使わないとき） ……48
  - 凍結のおそれがあるときは ……50
  - 生活用水として使うときは ……51
  - 定期点検契約について ……52
- ●据付工事後の確認とふろの試運転のしかた ……53
- ●故障かな!? ……54
- ●事業者様へのご案内 ……56
- ●保証とアフターサービス ……58
- ●仕様 ……裏表紙

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

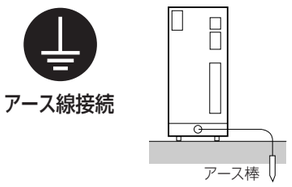
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠警告

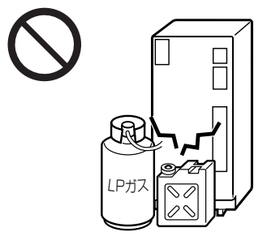
アース工事を確認する



アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- アース工事がされていない場合販売店にご依頼ください。

近くにガス類容器や引火物を置かない

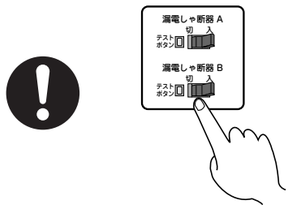


温水器の電気部品のスパークで、発火することがあります。

給湯時は給湯せん本体に手をふれない

熱湯でやけどをするおそれがあります。

漏電しゃ断器の作動を確認する



万一の不作動で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

- 故障の場合は販売店にご相談ください。

温水器の前板を開けない

感電するおそれがあります。

逃し弁の点検時、排水時は逃し弁や排水管に手をふれない

熱湯でやけどをするおそれがあります。

⚠警告

絶対に分解・修理・改造しない

感電や火災の原因になります。
修理の場合は販売店にご相談ください。

浴そうのふろ接続アダプター（循環口）を手足やタオルでふさいだり、体を近づけない

やけどのおそれがあります。
温水器本体の故障や配管の水漏れの原因となります。

浴そうの湯温を確かめる

やけどのおそれがあります。

- 自動湯はり後や追いだき後入浴するときは、手で湯温を確かめてから入浴してください。

給湯・シャワー使用時は湯温を確かめる

やけどのおそれがあります。

給湯温度の設定を変更するときは、他のじゃ口の使用を確認してから変更する

やけどのおそれがあります。

- シャワーの使用時は、給湯温度を変更しないでください。

ふろ接続アダプター（循環口）の浴そうフィルターをはずして使用しない

- 思わぬ事故の原因となります。

子供を浴室内で遊ばせない、また浴そうのふろ接続アダプター（循環口）付近に潜ったりしない

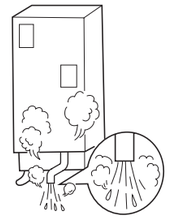
- 思わぬ事故の原因となります。

浴そうのふろ接続アダプター（循環口）の浴そうフィルターがゆるんだ状態、またははずれた状態でふろ自動運転、追いだきしない

- 思わぬ事故の原因となります。

⚠注意

電気温水器の熱湯を直接排水しない



やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。

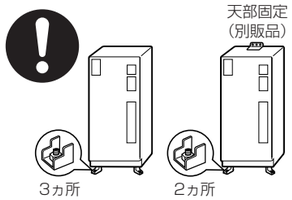
異常時は、漏電しゃ断器を「切」にする

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意(つづき) 必ずお守りください

⚠注意

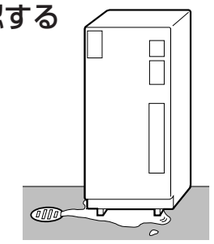
脚のアンカーボルト固定を確認する



地震などによって本体が転倒してけがをするおそれがあります。

- 固定していない場合は販売店にご相談ください。

床面の防水処理・排水処理を確認する



万一の漏水のときに階下などに被害をおよぼすおそれがあります。

- 販売店にご相談ください。

配管の保温工事を確認する

配管が凍結して破損すると、やけどや水漏れすることがあります。

- 保温工事を販売店にご依頼ください。

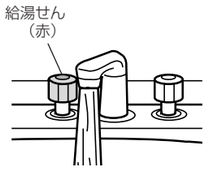
逃し弁の作動を確認する

故障のまま使用すると、タンクの破損や逃し弁からの水漏れのおそれがあります。

1ヵ月に1回作動確認してください。

- 故障の場合は、販売店にご相談ください。

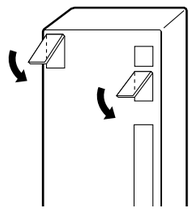
タンクを満水にしてから通電する



タンクに水を入れずに通電すると過熱します。

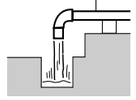
- 給湯せん(赤)を開き水が出ることを確かめてから、漏電しゃ断器を「入」にしてください。

本体操作部、逃し弁点検のふたは閉じておく



開いていると雨やごみが入り、漏電や感電の原因となります。

長期間使用しないときはタンクの水をぬく



1ヵ月以上使用しないと水質が変化することがあります。

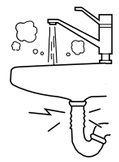
そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化等によって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度、やかんなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。

固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用には使用せずに、直ちに点検の依頼を行ってください。

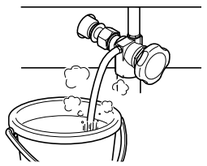
あつい湯を直接流さない



あつい湯により、やけどをしたり、排水管を傷めることがあります。

- 水と混合して流してください。

非常用水コック使用時は湯温を確かめて、熱に強い容器を使用する

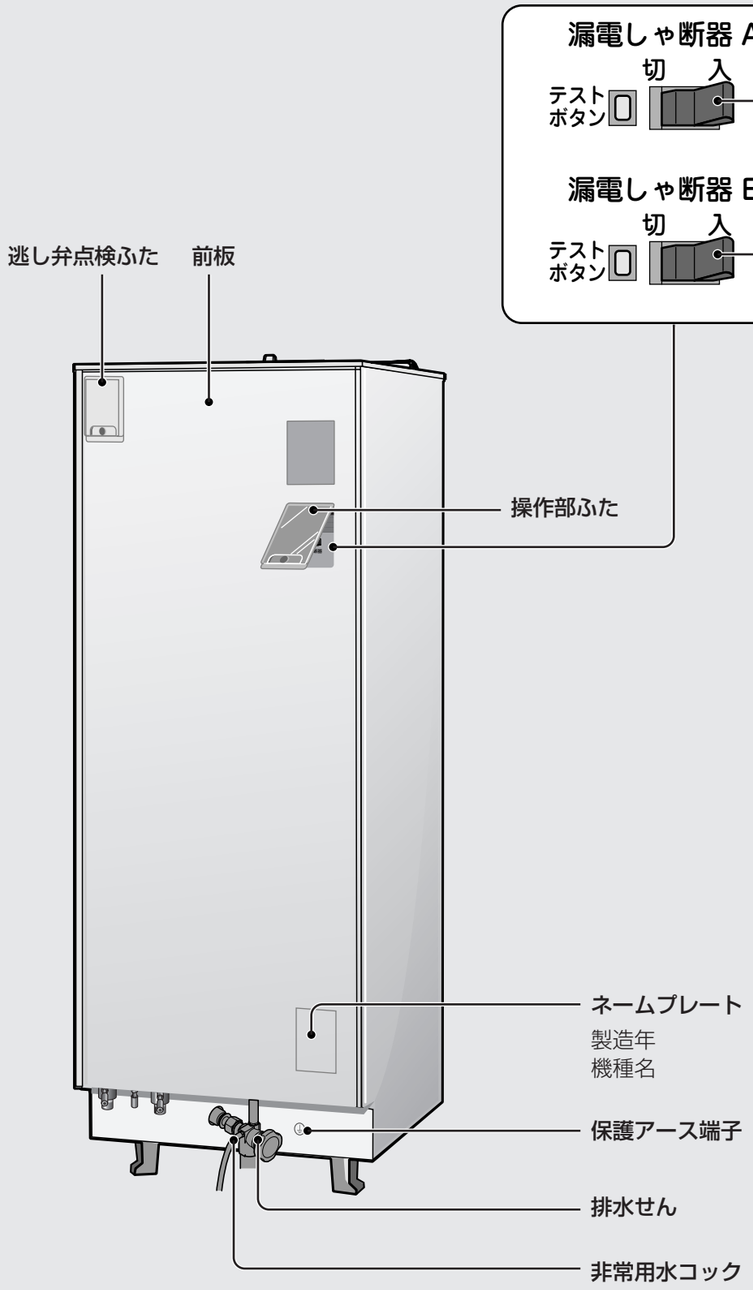


ホースから熱湯が出ます。

- やけどにご注意ください。
- ガラス容器などは熱により割れることがあります。

各部のなまえ

電気温水器本体



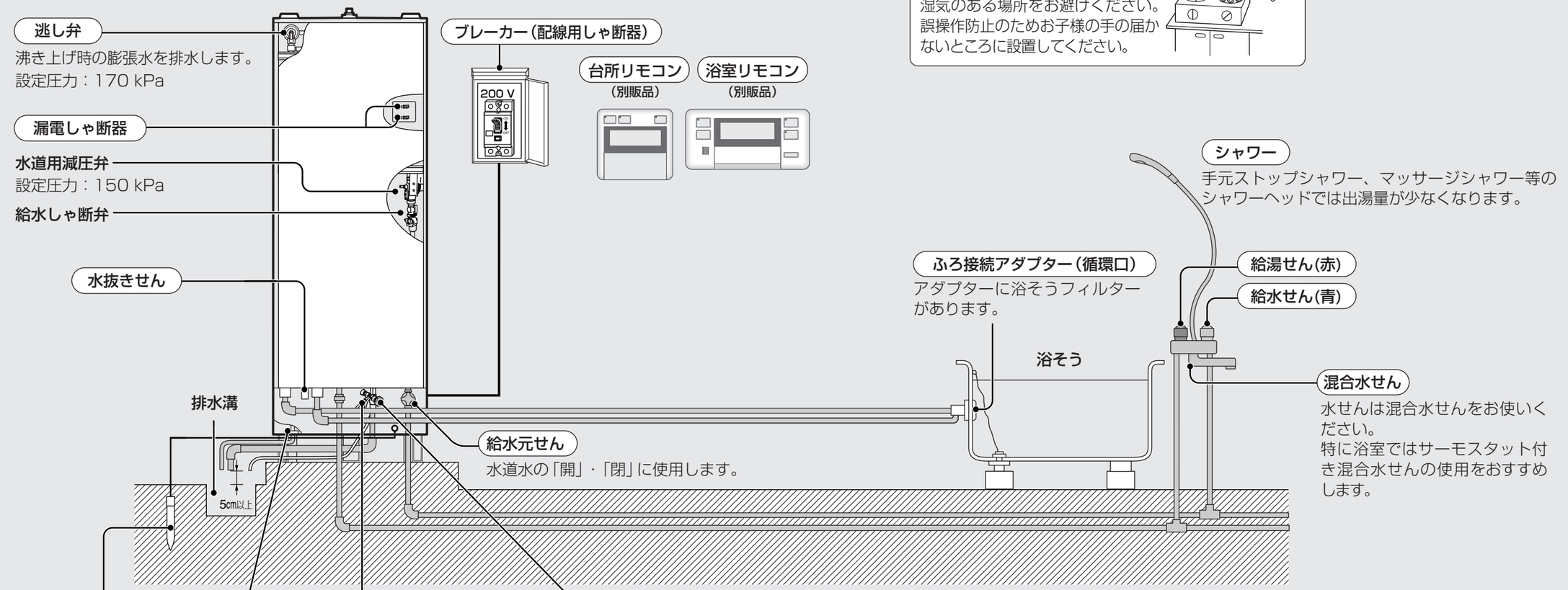
各部のなまえ

本体周辺

屋外標準配管（例）

- 屋外専用型は屋外に据え付けできますが、積雪地では小屋がけが必要です。
- 屋内専用型は、万一の水漏れを考慮して、床面の防水処理、および排水処理を行ってください。
- 台所リモコンを湯気や湿気のある場所に取り付けないでください。
- 地域や設置場所により工事内容が若干変わります。

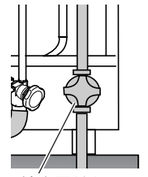
（　　）は、お客様が操作いただく部分です。



取付け工事のご確認

専用の給水元せんが取り付けられていることを確認する

給水元せんがないと故障のときに給水を止めることができません。

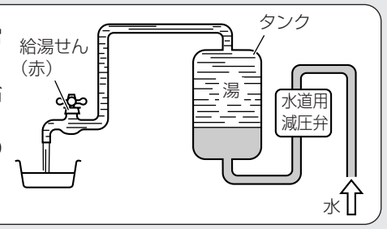


台所リモコンの設置場所が正しいかを確認する

台所リモコンの設置は湯気や熱気・湿気のある場所をお避けください。誤操作防止のためお子様の手の届かないところに設置してください。

お知らせ

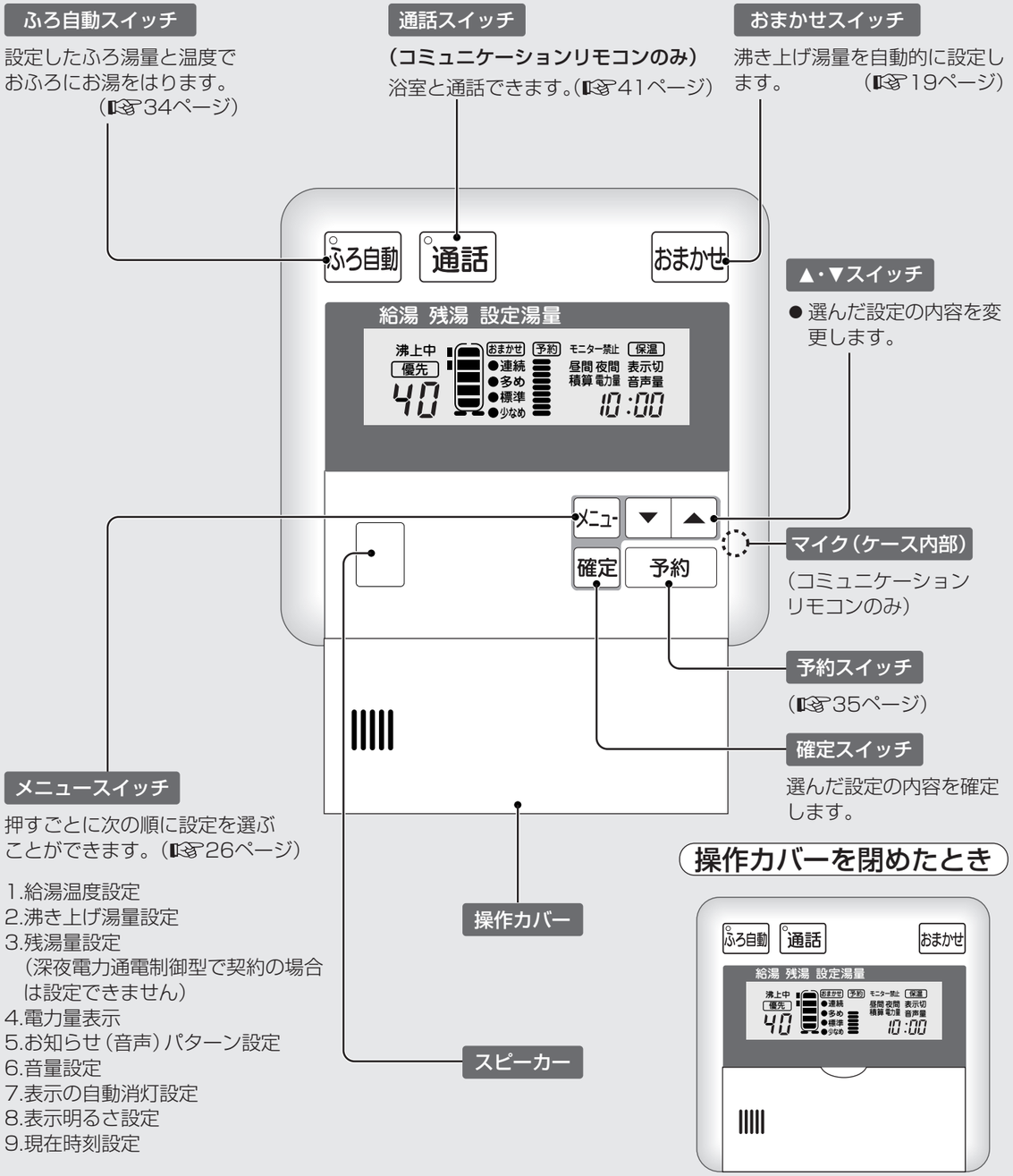
- タンク内は、水道用減圧弁で一定の水圧に調整され、常に満水状態を維持しています。
- 給湯せん（赤）を開くと、タンク下部の給水口より自動的に給水され、タンク内のお湯は水道水の圧力で押し出されます。
- 電気温水器（本体に当初から内蔵された部材を含む）の本体以外の配管部材にかかわる修理は販売店（工事店）に連絡してください。



各部のなまえ

台所リモコン

操作カバーを開けたとき



ふろ自動スイッチ

設定したふろ湯量と温度でおふろにお湯をはります。（☞34ページ）

通話スイッチ

（コミュニケーションリモコンのみ）

浴室と通話できます。（☞41ページ）

おまかせスイッチ

沸き上げ湯量を自動的に設定します。（☞19ページ）

▲・▼スイッチ

● 選んだ設定の内容を変更します。

マイク（ケース内部）

（コミュニケーションリモコンのみ）

予約スイッチ

（☞35ページ）

確定スイッチ

選んだ設定の内容を確定します。

メニュースイッチ

押すごとに次の順に設定を選ぶことができます。（☞26ページ）

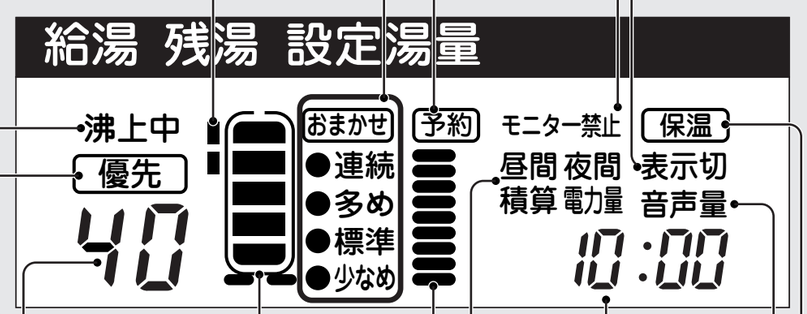
1.給湯温度設定
2.沸き上げ湯量設定
3.残湯量設定
　（深夜電力通電制御型で契約の場合は設定できません）
4.電力量表示
5.お知らせ（音声）パターン設定
6.音量設定
7.表示の自動消灯設定
8.表示明るさ設定
9.現在時刻設定

操作カバー

スピーカー

操作カバーを閉めたとき

蛍光管表示部（説明のため、全て表示しています。）



沸上中表示

沸き上げ中に表示します。沸き上げが完了すると表示が消えます。

残湯量設定表示

沸き増しを開始する残湯量を表示します。（☞26ページ）（深夜電力通電制御型で契約の場合は表示しません）

沸き上げ湯量設定表示

（☞19ページ）

予約表示

ふろ自動の予約中に表示します。（☞35ページ）

モニター禁止表示

（コミュニケーションリモコンのみ）

浴室モニター禁止中に表示。（☞42ページ）

モニター表示

（コミュニケーションリモコンのみ）

浴室モニター中に表示。（☞42ページ）

表示切

表示の自動消灯設定時に点灯。（☞27ページ）

台所優先表示

表示中は台所で給湯／シャワーの温度設定ができます。（☞31ページ）

給湯温度設定表示

給湯／シャワーの設定温度を表示。（☞31ページ）

残湯量表示

タンク内の残湯量を表示します。（☞21ページ）

湯量レベル表示

「おまかせ」運転時の沸き上げ湯量レベルを表示。（☞22ページ）

電力量表示

昼間、夜間の電力量と積算電力量を表示時に点灯。（☞26ページ）

時刻表示

現在時刻・予約時刻を表示。（☞18、35ページ）

ふろ保温表示

保温をしているときに表示します。（☞37ページ）

音声表示

お知らせ（音声）パターンの設定時に点灯。（☞27ページ）

音量表示

音量の切り替え時に点灯。（☞27ページ）

各部のなまえ

浴室リモコン

操作カバーを開けたとき

リモコン 切／入スイッチ
浴室リモコンの「入」「切」に。
（☞24、38ページ）

ボイスリモコン
呼出
呼出スイッチ

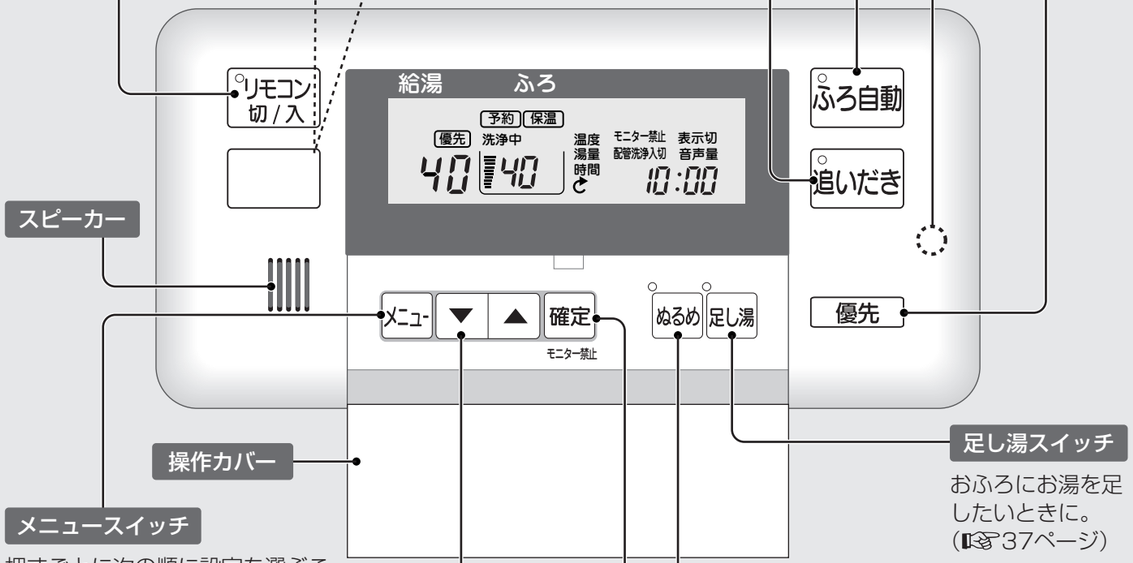
コミュニケーションリモコン
通話
通話スイッチ

ふろ自動スイッチ
ふろ自動運転するときに。
（☞34ページ）

マイク（ケース内部）
（コミュニケーションリモコンのみ）

追いだきスイッチ
おふろのお湯をあつくしたいときに。

優先スイッチ
浴室で給湯／シャワー温度を設定するときに。
（☞24ページ）



スピーカー

操作カバー

メニュースイッチ
押すごとに次の順に設定を選ぶことができます。（☞28ページ）

リモコン「切」のとき
1.お知らせ（音声）パターン設定
2.音量設定
3.保温時間設定
4.自動表示消灯設定
5.表示明るさ設定
6.現在時刻設定

リモコン「入」のとき
1.給湯温度設定
2.ふろ温度設定
3.ふろ湯量設定
4.ふろ予約設定
5.洗浄運転設定
6.現在時刻設定

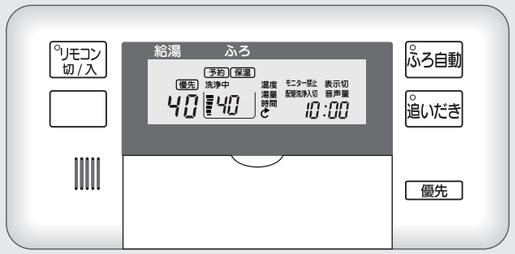
確定スイッチ
選んだ設定の内容を確定します。

ぬるめスイッチ
おふろの温度を下げたいときに。
（☞36ページ）

足し湯スイッチ
おふろにお湯を足したいときに。
（☞37ページ）

▲・▼スイッチ
選んだ設定の内容を変更します。

操作カバーを閉めたとき



蛍光管表示部（説明のため、全て表示しています。）

優先表示
表示中は浴室で給湯／シャワーの温度設定ができます。
（☞24ページ）

予約表示
ふろ自動の予約中に表示します。

ふろ保温表示
ふろ保温中に表示。
（☞37ページ）

〈コミュニケーションリモコンのみ〉

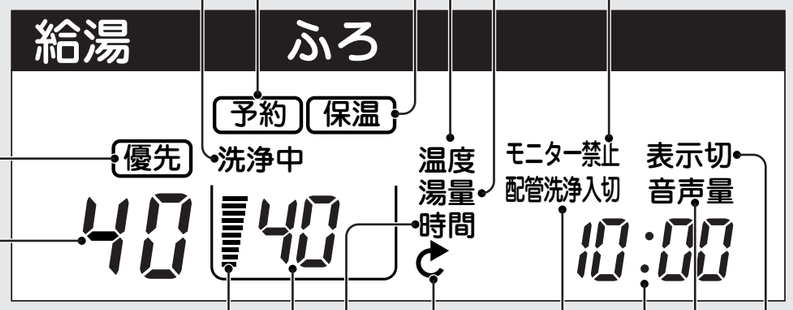
温度表示
ふろ温度表示中に点灯。

モニター禁止表示
浴室モニター禁止中に表示。
（☞42ページ）

湯量表示
ふろ湯量表示中に点灯。

モニター表示
浴室モニター中に表示。
（☞42ページ）

洗浄中表示
6ヵ月毎に「洗浄」表示。ふろ配管洗浄中は「洗浄中」表示。
（☞46ページ）



給湯温度設定表示
給湯／シャワーの設定温度を表示。
（☞32ページ）

ふろ湯量設定表示
設定したふろの湯量を表示。
（☞33ページ）

ふろ温度、ふろ湯量設定表示
ふろの設定温度、設定湯量を表示。
（☞33ページ）

追いだき表示
追いだき中に表示。

時間表示
保温時間を設定時に点灯。

配管洗浄表示
自動配管洗浄の「入」「切」設定時に点灯。

表示切
表示の自動消灯「入」「切」設定時に点灯。

音量表示
音量の切り替え時に点灯。

音声表示
音声の設定時に点灯。

時刻表示
現在時刻・予約時刻を表示。
（☞18、35ページ）

早見表　おもな使いかた

台所・洗面所でお湯を使う ☞31ページ

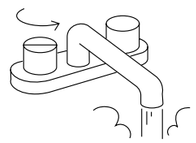
台所リモコン

1 優先表示を確認する
優先
表示されていない
⬇
浴室リモコンの優先を解除する

2 給湯温度を設定する
▼ ▲
40
温度表示

3 確定 を押す

4 給湯せん(赤)を開く



浴室でお湯を使う ☞32ページ

※リモコンを「入」にしておく。

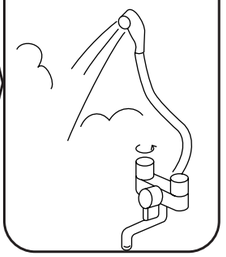
浴室リモコン

1 優先表示を確認する
優先
表示されていない
⬇
優先 押す

2 給湯温度を設定する
▼ ▲
温度表示
40

3 確定 を押す

4 給湯せん(赤)を開く



おふろにお湯をはる ☞34ページ

※リモコンを「入」にしておく。
※浴そうのせん・ふたをしておく。
※前回と同じふろ温度設定、湯量設定の場合はふろ自動スイッチを押すだけで、お湯はりを開始します。

浴室リモコン

1 メニュー を2回押す

2 ふろ温度を設定する
▼ ▲
40 温度表示

3 メニュー を押す

4 湯量を設定する
▼ ▲
4 湯量表示

5 確定 を押す

6 ふろ自動 を押す
3秒間湯量設定表示後、ふろ温度設定を表示します。

設定した温度・湯量になると、自動的に停止します
⬇
自動保温・自動足し湯運転開始

入浴中に湯かげんを調節する ☞36ページ

あつくするとき

1 追いだき を押す

途中で止めたいとき
⬇
再度 追いだき を押す

ぬるくするとき

1 ぬるめ を押す

約10 L水が注ぎ足されます
途中で止めたいとき
⬇
再度 ぬるめ を押す

入浴中に湯量を多くする ☞37ページ

1 足し湯 を押す

約20 L足し湯されます
途中で止めたいとき
⬇
再度 足し湯 を押す

浴室から人を呼ぶ（ボイスリモコンのみ） ☞38ページ

1 呼出 を押す

台所リモコンでお知らせします

おふろで呼んでいます

通話のしかた（コミュニケーションリモコンのみ） ☞40ページ

〈浴室リモコン〉
通話 を押す

〈台所リモコン〉
押しながら通話する
点滅 通話

メロディーが流れた後、通話できます。
（約60分間音声モニター状態になります。）

音声モニターのしかた（コミュニケーションリモコンのみ） ☞42ページ

通話のしかた

通話 を押す

約60分後、自動的に「切」になります。

音声モニター禁止のしかた
（浴室リモコンのみ）

確定 を押す

※メニュー操作しているときは、設定できません。

音量設定のしかた

▼ または ▲ を押す
通話中に音量を設定する

※ボイス機能の音量は変わりません。

ご使用前の準備

本体の準備

1 給水元せんを開く

2 排水せんを閉じる
- 右に回しきると「閉」になります。

3 逃し弁レバーを上げる
- 約30～40分でタンクが満水になります。
- 排水口から水が出始めたら、タンクは満水です。

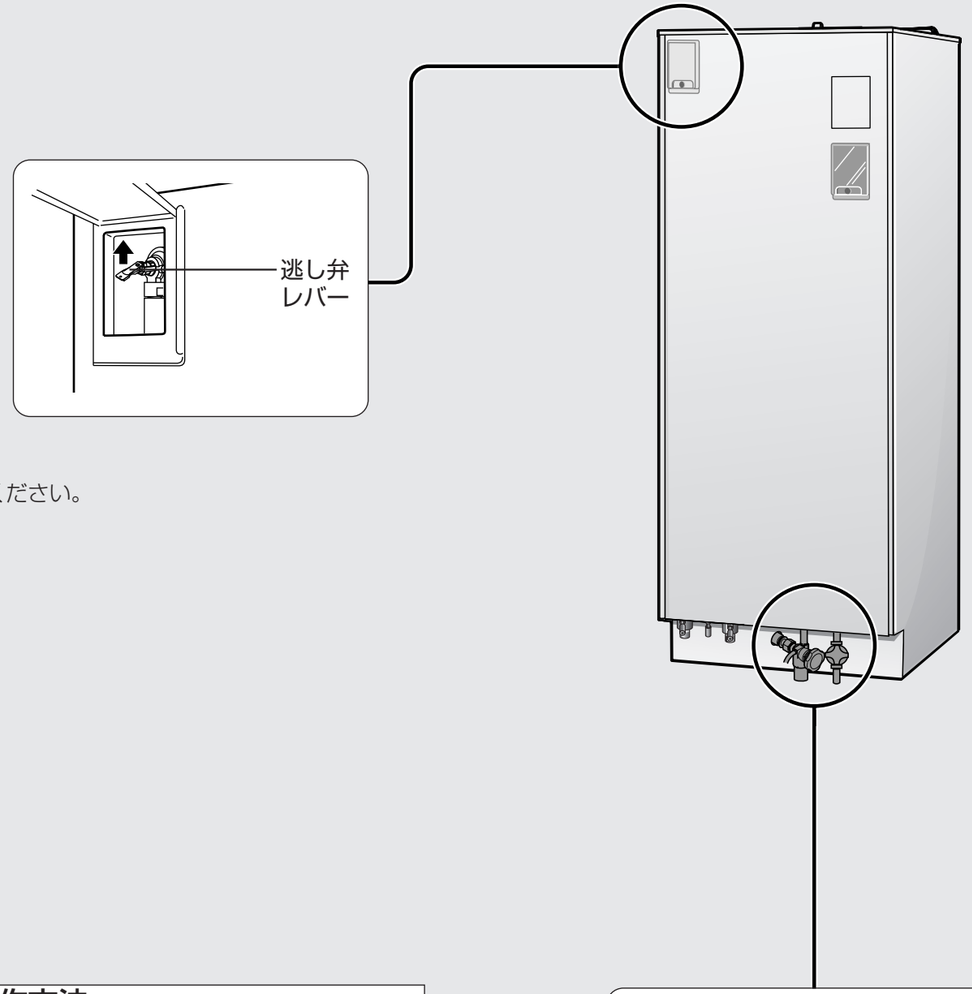
4 逃し弁レバーを下げる
- 逃し弁点検のふたを閉じてください。

5 給湯せん（赤）を開く
- 混合水せんから水が出始めたら、しばらく流し洗いしてください。

6 給湯せん（赤）を閉じる

7 給水せん（青）を開く
- 手順5と同様に、しばらく流し洗いしてください。

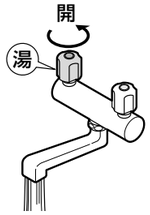
8 給水せん（青）を閉じる



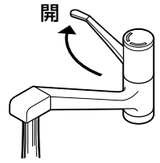
水せんの種類と操作方法

お湯の出し方は混合水せんのタイプにより異なります。

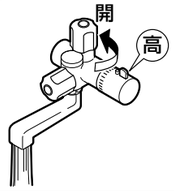
2バルブタイプ
お湯側（給湯せん）を開く

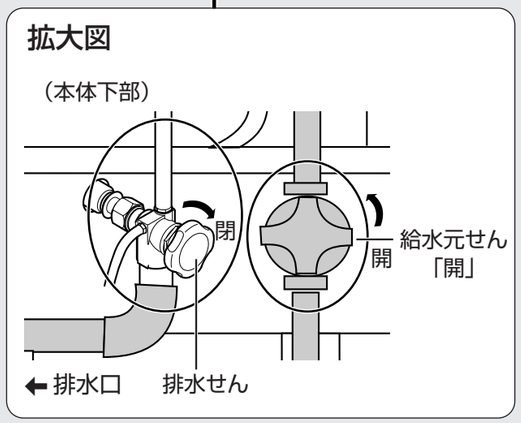


シングルレバータイプ
お湯側にレバーを回す



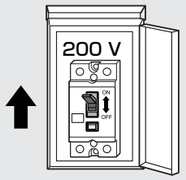
サーモスタットタイプ
湯温調節つまみを「高」側にして給湯せんを開く





9 ブレーカー（配線用しゃ断器）を「入」にする

ブレーカー（配線用しゃ断器）



10 漏電しゃ断器「A」「B」を「入」にする
- 漏電しゃ断器のふたを閉じてください。

漏電しゃ断器（本体操作部）

タンクの水が全量沸き上がるのは翌朝です

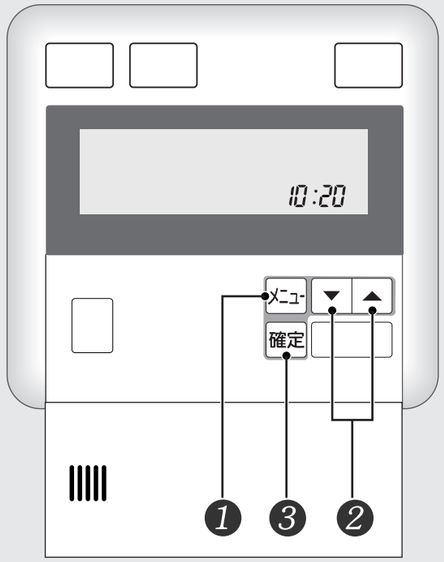
※ やけど防止のため、混合水せんの湯温調節つまみを「低」側にしてから、給湯せんを開き、お湯をお使いください。

ご使用前の準備

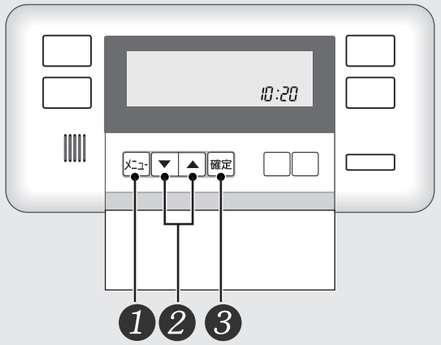
現在時刻の設定のしかた

台所リモコンの現在時刻を合わせると、浴室リモコンも自動的に現在時刻となります。
時刻設定はご使用に応じた正しい電力料金算定に必要です。現在時刻がずれている場合は、思わぬ電気料金がかかることがありますので、次の手順で「現在時刻」を合わせてください。

＜台所リモコン＞



＜浴室リモコン＞



1 メニュー を9回押す

（深夜電力通電制御型で契約の場合は8回）
（浴室リモコンは7回。ただし、浴室リモコン入のときは6回）

現在時刻が変更できます

6:00 時刻表示が点滅します。

2 ▼ または ▲ を押し
現在時刻を合わせる

10:20 時刻表示が変わります。

- ▼を押すと時刻表示は戻り、▲ を押すと進みます。
- 1回押すと1分ずつ変わり、押し続けると10分ずつ変わります。

3 確定 を押す

設定されました

10:20 時刻が点灯し、コロンが点滅します。
時計が動き始めます。
コロン

- 確定 を押さなかった場合、1分後にその時刻表示がセットされ、点灯に変わります。

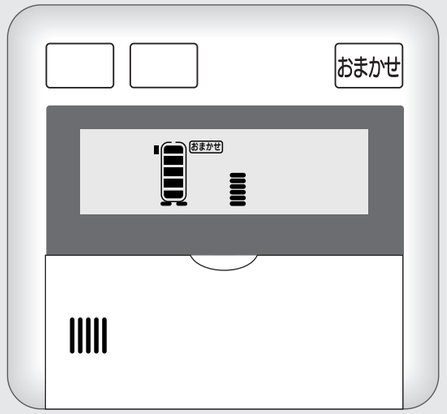
お知らせ

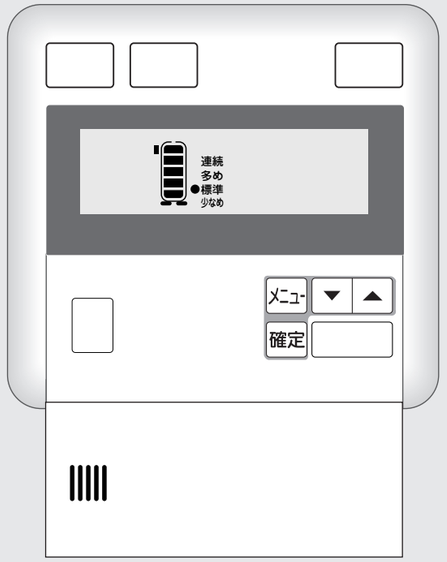
- 時刻設定はご使用に応じた正しい電力料金算定に必要です。
- 昼の12時は12：00、夜の12時は 0：00と表示します。
- 停電時でも再設定の必要はありません。
（通電のない場合でも、約5年間記憶しています。）

沸き上げ湯量の設定のしかた

電気温水器はお得な深夜電力を使ってお湯を沸かし、タンクにお湯をためておきますので、沸き上げ湯量を設定する必要があります。
1日の使用湯量に応じて、おまかせまたは手動で4段階の沸き上げ湯量の設定ができます。

＜台所リモコン＞





「おまかせ」モード

日々のお湯の使用量に応じて沸き上げ湯量レベルを自動的に切り替えます。（詳細は ☞ 22ページ）
工場出荷時は「おまかせ」に設定しています。

1 おまかせ を押す

おまかせが設定されました

おまかせ が表示されます。

■手動設定モードにしたいとき

もう一度 おまかせ を押す

おまかせが取り消されました

おまかせ 表示が消えます。

- 設定湯量表示は前回の設定に戻ります。ただし、前回の設定が「連続」の場合、「標準」となります。

手動設定モード

使用湯量を「連続」、「多め」、「標準」、「少なめ」の4段階に設定できます。

おまかせ モードになっているときは おまかせ を押して取り消してください。

1 メニュー を2回押す

沸き上げ湯量が変更できます

2 ▼ または ▲ を押す

- 「少なめ」～「連続」のいずれかに合わせてください。
- 「沸き上げ湯量の選びかた」（☞20ページ）

3 確定 を押す

設定されました

ご使用前の準備

電力契約の種類によって湯量設定の選びかたが異なります。ご確認のうえ、上手にお使いください。

沸き上げ湯量の選びかた

A「時間帯別料金対応通電制御型」で契約の場合

	設定湯量表示	設定時のめやす	温水器の沸き上げ状態	
			夜　間	昼　間
「おまかせ」モード	おまかせ	通常はこの位置に設定して使用する（毎日の使用湯量があまり変化しない場合）	お湯の使用量に応じて75～90 ℃に沸き上げる。	沸き増しします。 ● 使ったら沸き増し ● 湯切れ沸き増し
手動設定モード	●連続	来客の多い日や、お湯が多量に必要なとき	全量90 ℃に沸き上げる。	沸き増しします。 ● 全量沸き上げ状態になるように沸き増しします。 ● 連続は24時間経過すると設定が自動的に「標準」に変わります。
	●多め	「標準」で使用されていて、お湯が足りないとき（冬期など）		沸き増しします。 ● 湯切れ沸き増し
	●標準	夜間電力だけで使いたいとき		沸き増ししません。
	●少なめ	「標準」で使用されていて、お湯が余りぎみのとき（夏期など）	全量75 ℃に沸き上げる。	

B「深夜電力通電制御型」で契約の場合

	リモコン設定湯量表示（リモコンありの場合）	設定時のめやす	温水器の沸き上げ状態
			夜　間
「おまかせ」モード	おまかせ	通常はこの位置に設定して使用する（毎日の使用湯量があまり変化しない場合）	お湯の使用量に応じて75～90 ℃に沸き上げる。
手動設定モード	●標準	「おまかせ」で使用されていて、お湯が足りないとき	全量90 ℃に沸き上げる。
	●少なめ	「標準」で使用されていて、お湯が余りぎみのとき（夏期など）	全量75 ℃に沸き上げる。

※「深夜電力通電制御型」で契約の場合は、昼間の沸き増しはできません。

C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」で契約の場合

	設定湯量表示	設定時のめやす	温水器の沸き上げ状態		
			夜間時間	昼間時間	その他の時間
「おまかせ」モード	おまかせ	通常はこの位置に設定して使用する（毎日の使用湯量があまり変化しない場合）	お湯の使用量に応じて75～90 ℃に沸き上げる。	沸き増しします。 ● 湯切れ沸き増し	沸き増しします。 ● 使ったら沸き増し ● 湯切れ沸き増し
手動設定モード	●連続	来客の多い日や、お湯が多量に必要なとき	全量90 ℃に沸き上げる。	沸き増しします。 ● 全量沸き上げ状態になるように沸き増しします。 ● 連続は24時間経過すると設定が自動的に「標準」に変わります。	
	●多め	「標準」で使用されていて、お湯が足りないとき（冬期など）		沸き増しします。 ● 湯切れ沸き増し	沸き増しします。 ● 湯切れ沸き増し
	●標準	夜間電力だけで使いたいとき		沸き増ししません。	
	●少なめ	「標準」で使用されていて、お湯が余りぎみのとき（夏期など）	全量75 ℃に沸き上げる。		

※電気温水器は季節区分の判断はできません。

沸き増しについて

■「使ったら沸き増し」とは
「おまかせ」で、お湯の使用量が増えてくると、湯量を確保するためにあらかじめ沸き増しします。

■「湯切れ沸き増し」とは
タンクの残湯量が少なくなると、湯切れ防止のため、沸き増しします。

■「追いだき沸き増し」とは
タンク内の湯温が低下して、追いだきできなくなったら、ヒーターに通電して沸き増しします。

■ 昼間沸き増し湯量のめやす

（A「時間帯別料金対応通電制御型」
C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」で契約の場合）

単位：リットル

沸き増し時間	370 Lタイプ 電気温水器	460 Lタイプ 電気温水器
30分間	約　25	約　30
1時間	約　50	約　60
2時間	約 100	約 120
3時間	約 150	約 180

※ 沸き上げ湯温90 ℃、給水温度15 ℃のときの値

■ 表示と残湯量のめやす

単位：リットル

表示	370 Lタイプ 電気温水器	460 Lタイプ 電気温水器
	湯量	湯量
	50以下	50以下
	50～100	50～125
	100～150	125～200
	150～280	200～370
	280～370	370～460

湯温約45℃以上の残湯量を表示しています。

ご使用前の準備

「おまかせ」運転について

- 日々のお湯の使用量に応じて、沸き上げ湯量レベルを自動的に切り替えます。
- 沸き上げ湯量レベルはレベル1～レベル9の9段階あり、設定された湯量レベルに対して、沸き上げ温度と昼間沸き増し時間で運転します。
  夜間、昼間に関係なくリモコンの残湯量表示が▯または▮になると「湯切れ沸き増し」します。
- C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」でご契約の場合、電力料金が割高な昼間時間には「使ったら沸き増し」は行いません。(☞2ページ)

A「時間帯別料金対応通電制御型」
C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」でご契約の場合

リモコンの湯量レベル表示と電気温水器の沸き上げ状態

台所リモコン 湯量レベル表示		電気温水器の沸き上げ状態	
		沸き上げ温度と沸き上げ量	昼間沸き増し時間
▮▮▮	レベル9	約90 ℃ 100 %	3時間
▮▮▮	レベル8	約90 ℃ 100 %	2時間
▮▮▮	レベル7	約90 ℃ 100 %	1時間
▮▮▮	レベル6	約90 ℃ 100 %	0時間
▮▮▮	レベル5	約83 ℃ 100 %	0時間
▮▮	レベル4	約75 ℃ 100 %	0時間
▮▮	レベル3	約75 ℃ 90 %	0時間
▬	レベル2	約75 ℃ 75 %	0時間
▬	レベル1	約75 ℃ 60 %	0時間

※レベル7～レベル9
昼間にリモコンの残湯量表示が▮▮▮の状態になると、自動的に沸き増します。

B「深夜電力通電制御型」でご契約の場合

リモコンの湯量レベル表示と電気温水器の沸き上げ状態

台所リモコン 湯量レベル表示		電気温水器の沸き上げ状態	
		沸き上げ温度と沸き上げ量	昼間沸き増し時間
▮▮▮	レベル6	約90 ℃ 100 %	0時間
▮▮▮	レベル5	約83 ℃ 100 %	0時間
▮▮▮	レベル4	約75 ℃ 100 %	0時間
▮▮	レベル3	約75 ℃ 90 %	0時間
▬	レベル2	約75 ℃ 75 %	0時間
▬	レベル1	約75 ℃ 60 %	0時間

※昼間沸き増しはできないため、沸き上げ湯量レベルはレベル1～レベル6の6段階になります。

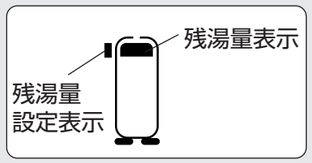
残湯量の設定について

湯切れ沸き増しをする残湯量を切り換えることができます。
（深夜電力通電制御型で契約の場合は設定できません）

1 台所リモコンの［メニュー］を3回押す

残湯量設定が変更できます

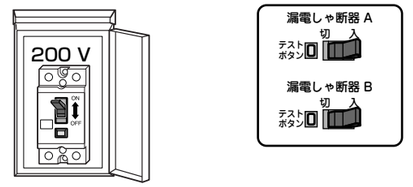
2 リモコンの［▼］または［▲］を押すと▯(100 Lただし460 Lタイプの電気温水器は125 L)が点灯し、さらに［▼］または［▲］を押すと▯(50 L)になり［▼］または［▲］を押すごとに残湯量の設定を変えることができます。
［確定］を押すと残湯量が設定されます。（設定されました）
▯に設定していて足りないときは▯に設定してください。
▯(50 L)に設定すると電気代は経済的ですが、湯切れすることがあります。



※残湯量を▯に設定しているときは▯になると沸き増しを開始します。
残湯量を▯に設定しているときは▯になると沸き増しを開始します。

使用上のお願いとお知らせ

■通常はブレーカー(200 V)と漏電しゃ断器は、「入」の状態でご使用ください。



■リモコンの時刻が正しく表示しているかを確認してください。

- 初めて入居されたときや停電のときなどにリモコンの時刻表示が点滅し、ブザーが鳴る場合があります。その場合、「現在時刻の設定のしかた」(☞18ページ)にしたがって現在時刻を設定してください。

A「時間帯別料金対応通電制御型」
C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」で契約の場合

- 万一時刻が大幅にずれていますと、思わぬ電気代がかかります。

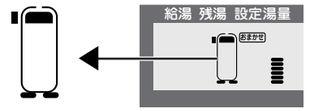
※正しく時刻を合わせても大幅に時刻がずれてくるときは、販売店にご相談ください。

■湯切れにご注意ください。

- 高圧力型のため、台所やシャワーなどで出るお湯の量が増えます。
  - シャワーはこまめに止めてください。
  - 台所での流し洗いはぬるめの温度で使用してください。

■台所リモコンの「残湯量表示」にご注意ください。

- リモコンの「残湯量表示」が下図のようになっていると使用できるお湯の量がわずかになっています。(☞22ページ)



A「時間帯別料金対応通電制御型」
C「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」で契約の場合

- ▯または▮が表示されると電気温水器が湯切れ沸き増しを開始します。

B「深夜電力通電制御型」で契約の場合

次のように多量のお湯を使用すると、湯量不足の原因になりますのでご注意ください。

- 入浴のたびにお湯を入れ替えたり、1日2回以上入浴したとき。
- 来客などで入浴人数が増えたとき。
- 食器洗いや洗濯などで、湯を流し洗いしたとき。
- 深夜通電時間帯に多量のお湯を使用したとき。
  (翌日の湯量が少なくなることがあります)

■選べる電力料金契約

この電気温水器は契約の種類により、「時間帯別料金対応通電制御型」「季節別時間帯別電灯契約通電制御型」「深夜電力通電制御型」のいずれでも使用できます。

時間帯別料金対応通電制御型

季節別時間帯別電灯契約通電制御型

深夜電力通電制御型

この電気温水器は申請によって通電制御型として料金割引が適用されます。
買い替えの場合でもご使用の前に、お買い上げの販売店または電力会社にお問い合わせください。

※ 電気温水器の契約を変更したい場合には、お買い上げの販売店または電力会社にご相談ください。

■タオル、タイル目地などが青くなることがあります

参考：社団法人　日本銅センター発行「銅と衛生」

使用地域の水質により、ごくまれに薄青くなることがあります。これは、水中に含まれるわずかな銅イオンと、石けんなどに含まれる脂肪酸とが反応しておこるもので、人体には害はありません。
井戸水や簡易水道での使用時に比較的おこりやすい現象です。

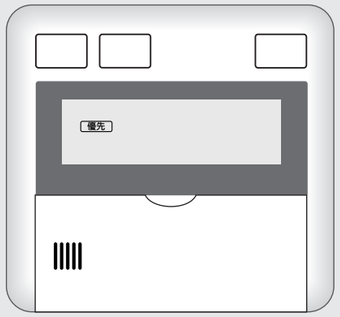
- **タオルや布の場合**
  70～80 ℃のお湯に食酢を混ぜて10～15 %溶液を作り、浸漬すると脱色します。
- **浴そうやタイル目地の場合**
  アンモニア水(10 %溶液)を少量滴下して、スポンジなどでよくこすり、食酢などで中和し、水で洗い流してください。(一般家庭用のクレンザーなどでも落とせますが、あまり強くこすると傷がつきますのでご注意ください)

知っておいてください

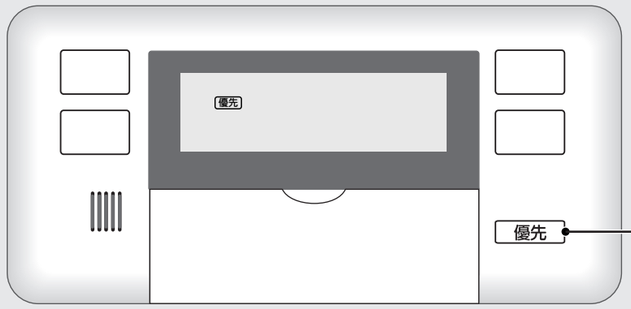
優先設定について

■優先表示が出ているリモコンで給湯温度の設定ができます。
浴室でお湯を使用するときは、浴室優先にしてください。
台所優先のまま浴室でお湯を使用すると、給湯温度を高く設定されたときにやけど等の事故につながるおそれがあります。

＜台所リモコン＞



＜浴室リモコン＞



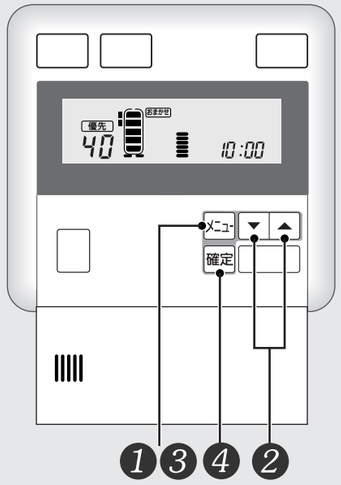
浴室優先ボタンを押すごとに、浴室優先と台所優先が切り替わります。

浴室リモコンの切／入スイッチについて

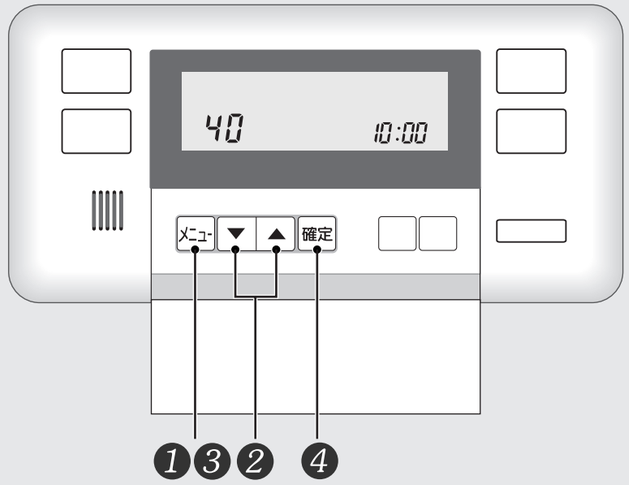
■浴室リモコンで操作するときは「入」にしてください。
■おふろをご使用にならないとき、浴室リモコンを「切」にすると全ての表示が消えます。台所優先に切り換わります。ただし、給湯／シャワー温度の設定が60 ℃の場合、「60」が表示されたままです。
■台所リモコンの ふろ自動 を押すと、自動的に浴室リモコンが「入」になり、表示が点灯します。

リモコンによる各種設定切換のしかた

＜台所リモコン＞



＜浴室リモコン＞



1 メニュー を押す
● 押すごとに設定画面が切り換わります。

2 変更したい設定画面になってから ▼ または ▲ を押す
● 設定の変更ができます。

■他の設定も変えるとき

3 メニュー を押す
● ❷で変えた設定を確定させ、次の設定画面にすすみます。

■設定を終わりたいとき

4 確定 を押す
● 表示中の設定を確定させ通常表示に戻ります。

リモコンによる各種設定切換の一覧（切換のしかたはP26～P29参照）

メニュー を押す回数	切換の内容		
	台所リモコン	浴室リモコン	
		リモコン切／入 が「切」のとき	リモコン切／入 が「入」のとき
1回（1回）	給湯温度〈給湯／シャワー温度の設定〉（台所リモコン優先設定時）	お知らせ（音声）パターン	給湯温度（浴室優先設定時）
2回（2回）	沸き上げ湯量	音量	ふろ温度
3回（－）	残湯量〈湯切れ沸き増し開始の残湯量〉	ふろ自動運転時間	ふろ湯量
4回（3回）	電力量確認表示〈使用した電力量のめやすを表示〉	自動表示消灯	ふろ予約
5回（4回）	お知らせ（音声）パターン	表示明るさ	洗浄運転
6回（5回）	音量	自動配管洗浄	現在時刻
7回（6回）	自動表示消灯	現在時刻	
8回（7回）	表示明るさ		
9回（8回）	現在時刻		

（ ）内は深夜電力通電制御型で契約した場合の台所リモコンの メニュー を押す回数です。

台所リモコンによる各種設定切換のしかた

お知らせ

- 各設定画面中において15秒間操作がないときは、通常表示に戻ります。
- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。
- メニュー を押す回数で（　）内は、深夜電力通電制御型で契約した場合の回数です。

給湯温度の設定 <給湯／シャワー温度の設定>

メニュー を1回（1回）押す

台所リモコンが 優先 になっていることを確認する。

給湯温度が変更できます

- 給湯温度を表示します。 優先 40

▲温度を上げる　優先 41

▼温度を下げる　優先 39

沸き上げ湯量の設定

メニュー を2回（2回）押す

沸き上げ湯量が変更できます

▼または▲を押すごとに切り換わります。
- 湯量を手動で設定できます。
- おまかせ になっているときは おまかせ を押して取り消してください。

<連続> ▸ <多め> ▸ <標準> ▸ <少なめ>

残湯量の設定 <湯切れ沸き増し開始の残湯量の設定> <深夜電力通電制御型で契約の場合は設定できません>

メニュー を3回押す

残湯量設定が変更できます

▼または▲を押すごとに切り換わります。
- タンクの左に表示します。

少なめのとき（50 L）省エネ優先

多めのとき（100 L）お湯の量優先

■残湯量の表示について

1つ（少なめ50 L） ⟶ で湯切れ沸き増し開始

2つ（多め100 L） ⟶ で湯切れ沸き増し開始

電力量確認表示 <使用した電力量のめやすを表示>

メニュー を4回（3回）押す

電力量をお知らせします

昼間 電力量 3

▲を押すごとに切り換わります。
▼を押すと逆にすすみます。

昼間 電力量 3 ／ 夜間 電力量 12 → 電力量（kWh）

昼間の電力量です

夜間の電力量です

昼間 積算電力量 26 72 → 前日までの 昼間の積算電力量です

夜間 積算電力量 26 3 11 → 前日までの 夜間の積算電力量です

積算日数

昼間 夜間 積算電力量 3 11

電力量をリセットできます

確定 を押すと、電力量をリセットできます。

お知らせ（音声）パターンの設定

メニュー を5回（4回）押す

お知らせパターンが変更できます

音声 1

▼または▲を押すごとに切り換わります。

音声 1 ／ 音声 2 ／ 音声 3

メロディーと音声でお知らせします

メロディーだけでお知らせします

ブザーでお知らせします

音量の設定 <お好みに応じて音量を設定>

メニュー を6回（5回）押す

音量が変更できます

音量 2

●音量のレベルを表示します。
▼または▲を押すごとに切り換わります。

音量 0 ／ 音量 1 ／ 音量 2 ／ 音量 3

音量ゼロです

音量小です

音量中です

音量大です

表示の自動消灯設定

メニュー を7回（6回）押す

表示の自動消灯入り切りが変更できます

表示切 0

●自動消灯入の場合、約30分間スイッチ操作をしないと自動消灯します。消灯後いずれかのスイッチを操作すると再び点灯します。
▼または▲を押すごとに切り換わります。

表示切 1 ／ 表示切 0

自動消灯します

自動消灯しません

表示明るさの設定

メニュー を8回（7回）押す

表示の明るさが変更できます

▼または▲を押すごとに切り換わります。

表示 1 ／ 表示 2 ／ 表示 3

現在時刻の設定

メニュー を9回（8回）押す

現在時刻が変更できます

6:00

設定のしかたは18ページをご覧ください。

浴室リモコンによる各種設定切換のしかた

〈リモコン 切/入 が「切」のとき〉

お知らせ

- 各設定画面中において15秒間操作がないときは、通常表示に戻ります。
- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。

お知らせ（音声）パターンの設定

メニュー を1回押す

お知らせパターンが変更できます

音声 1

▼または▲を押すごとに切り換わります。

音声 1 ／ 音声 2 ／ 音声 3

- 音声 1：メロディーと音声でお知らせします
- 音声 2：メロディーだけでお知らせします
- 音声 3：ブザーでお知らせします

音量の設定 <お好みに応じて音量を設定>

メニュー を2回押す

音量が変更できます

音量 2

●音量のレベルを表示します。
▼または▲を押すごとに切り換わります。

音量 0 ／ 音量 1 ／ 音量 2 ／ 音量 3

- 音量 0：音量ゼロです
- 音量 1：音量小です
- 音量 2：音量中です
- 音量 3：音量大です

ふろ自動運転（保温）時間の設定

メニュー を3回押す

保温時間が変更できます

保温 2 時間

▼または▲を押すごとに保温時間表示が切り換わります。

保温 0 時間 ⋯ 保温 6 時間

表示の自動消灯設定

メニュー を4回押す

表示の自動消灯入り切りが変更できます

表示切 0

●自動消灯入の場合、約30分間スイッチ操作しないと自動消灯します。いずれかのスイッチを操作すると再び点灯します。
▼または▲を押すごとに切り換わります。

表示切 1 ／ 表示切 0

- 表示切 1：自動消灯します
- 表示切 0：自動消灯しません

表示明るさの設定

メニュー を5回押す

表示の明るさが変更できます

▼または▲を押すごとに切り換わります。

自動配管洗浄の設定

メニュー を6回押す

自動配管洗浄の入り切りが変更できます

配管洗浄入

▼または▲を押すごとに切り換わります。

配管洗浄 切 ／ 配管洗浄入

現在時刻の設定

メニュー を7回押す

現在時刻が変更できます

6:00

設定のしかたは18ページをご覧ください。

浴室リモコンによる各種設定切換のしかた

〈 リモコン 切/入 が「入」のとき〉

お知らせ

- 各設定画面中において15秒間操作がないときは、通常表示に戻ります。
- 確定 を押すと変更内容を確定して、通常表示に戻ります。

給湯温度の設定〈給湯／シャワー温度の設定〉

浴室リモコンが 優先 になっていることを確認する。

メニュー を1回押す

給湯温度が変更できます

- 給湯温度を表示します。 優先 40

▲温度を上げる → 優先 41

▼温度を下げる → 優先 39

ふろ温度の設定

メニュー を2回押す

ふろ温度が変更できます

温度 40

▲温度を上げる → 温度 42

▼温度を下げる → 温度 38

ふろ湯量の設定

メニュー を3回押す

ふろ湯量が変更できます

湯量 4

▼または▲を押すごとに切り換わります。
リモコンの表示は下図のようになります。
1 ～ 10 ～ 15 （10以上は数値のみ変わります）
10→11は▲を3秒間押してください。

お湯はり（ふろ自動）の予約の設定

メニュー を4回押す

ふろ自動の予約ができます
確定スイッチを押してください。
（予約していないとき）

ふろ自動の予約を取り消すことができます
確定スイッチを押してください。
（予約しているとき）

▼または▲を押すと予約時刻を変更できます。
確定 を押すと、予約の設定、解除ができます。

洗浄運転の設定

メニュー を5回押す

洗浄運転の操作ができます
確定スイッチを押してください。

洗浄中

「洗浄中」に 確定 を押すと洗浄運転を取り消すことができます。
「洗浄」を表示しているときに 確定 を押すと洗浄運転になります。

現在時刻の設定

メニュー を6回押す

現在時刻が変更できます

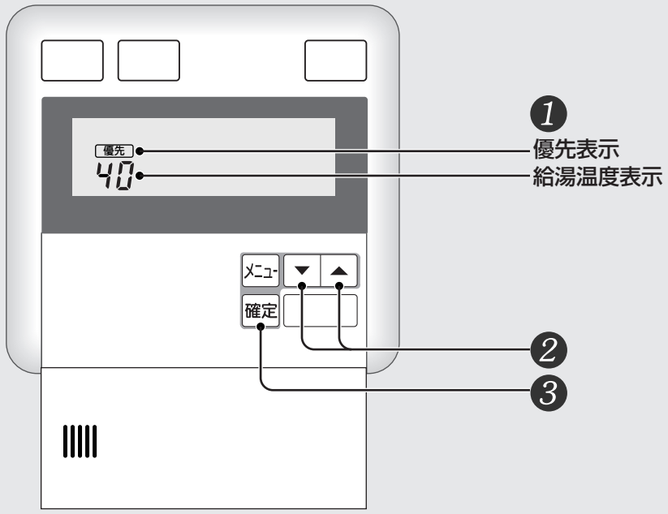
6:00

設定のしかたは18ページをご覧ください。

お湯を使う

台所・洗面所でお湯を使う

＜台所リモコン＞



1 台所優先を確認する

優先表示されていないとき ➡ 浴室リモコンの 優先 を押す

2 お湯の温度を設定する

温度を上げる

温度を下げる

32 ℃、35 ℃、38 ℃～47 ℃（1 ℃きざみ）、
60 ℃の設定ができます。

3 確定 を押す

設定されました

※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

4 給湯せんを開ける

お湯側にレバーを回す

お知らせ

- 優先 表示の出ているリモコンの設定温度でお湯が出ます。
  「優先設定について」（☞24ページ）
- 前回使用時と同じ温度で使用するときは、温度の設定をしなおす必要はありません。
- 表示されている給湯温度表示の数字は「設定値」の表示です。じゃ口、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- じゃ口のタイプによっては、じゃ口から出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を60 ℃にし、水と混合してご使用ください。
- 浴そうへのお湯はり中は、じゃ口、シャワーから出るお湯の量が少なくなる場合があります。
- 音声モニター中の ▼ ▲ はモニター音量設定となります。
  お湯の温度を設定する場合は再度 通話 を押して音声モニターを終了してください。

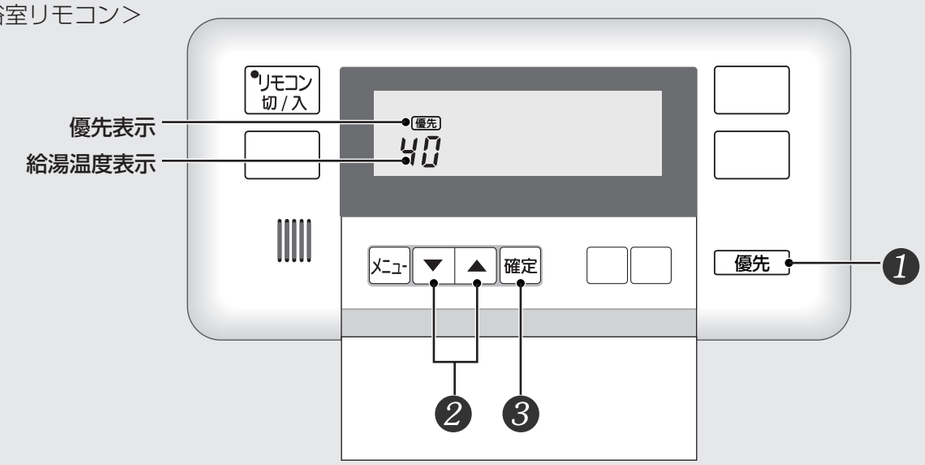
お願い

- サーモスタットタイプの湯水混合水せんをご使用の場合は、お湯の温度設定を使用されるお湯の温度より約10 ℃以上高い温度に設定してください。
  （例：湯温調節つまみの設定：40 ℃
  →リモコンのお湯の温度設定：60 ℃）
- 水せんのタイプにより操作方法が異なります。
  16ページ

お湯を使う

浴室でお湯・シャワーを使う

＜浴室リモコン＞



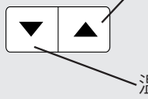
浴室リモコンが「入」になっていることを確認してください。

1 浴室優先にする

優先 ➡ 優先

押す　優先表示を確認

2 お湯の温度を設定する



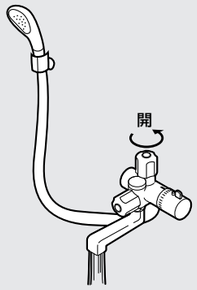
32 ℃、35 ℃、38 ℃～47 ℃（1 ℃きざみ）、
60 ℃の設定ができます。

3 確定 を押す

設定されました

※押さない場合は、15秒後に自動的に確定します。

4 給湯せんを開ける



お知らせ

- 優先 表示の出ているリモコンで給湯温度を変更できます。
  「優先設定について」（☞24ページ）
- 前回使用時と同じ温度で使用するときは、温度の設定をしなおす必要はありません。
- 給湯せんを開くと設定した温度のお湯が出ます。（配管に残水がある場合はすぐにお湯が出ません）
- 表示されている給湯温度表示の数字は「設定値」の表示です。給湯せん、シャワーなどの湯温とは多少異なる場合があります。
- 水せんのタイプによっては、給湯せんから出るお湯の量が少なくなる場合があります。その時はお湯の温度設定を60 ℃にし、水と混合してご使用ください。
- 浴そうへのお湯はり中は、給湯せん、シャワーから出るお湯が少なくなる場合があります。

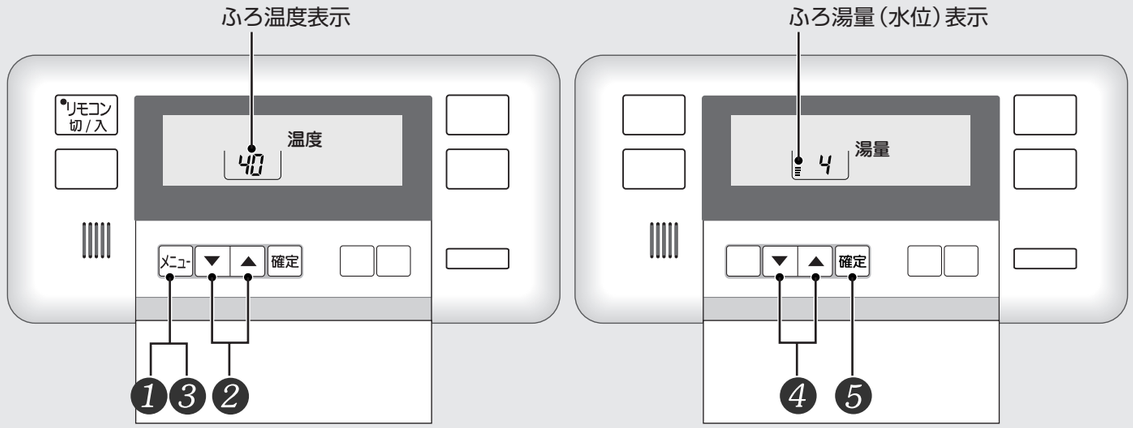
お願い

- 音声モニター中の ▼ ▲ はモニター音量設定となります。
  お湯の温度を設定する場合は再度 通話 を押して音声モニターを終了してください。
- サーモスタットタイプの混合水せんをご使用の場合は、お湯の温度設定を使用されるお湯の温度より約10 ℃以上高く設定してください。
  （例：湯温調節つまみの設定：40 ℃
  →リモコンのお湯の温度設定：60 ℃）
- 水せんのタイプにより操作方法が異なります。
  16ページ
- シャワーの給湯温度を変更する場合は、必ず浴室リモコンの 優先 を押し、優先 を表示させてから変更してください。優先 を表示させないで台所リモコンで温度設定を上げた場合は、やけどのおそれがあります。

おふろに入る

ふろ温度とふろ湯量（水位）の設定のしかた

＜浴室リモコン＞



浴室リモコンが「入」になっていることを確認してください。

1 メニュー を2回押す

ふろ温度が変更できます

2 ふろ温度を設定する

▼ ▲ ―温度を上げる
　　―温度を下げる

- 36 ℃～48 ℃の範囲で1 ℃きざみで設定できます。
  （36 ℃より下げると、水になります。
  温度表示 ➡「－－」）

3 メニュー を押す

設定されました

ふろ湯量が変更できます

4 ふろ湯量を設定する

▼ ▲ ―水位を上げる
　　―水位を下げる

5 確定 を押す

設定されました

お湯のあふれに注意してください。
- 洋風バスなどの浅い浴そうをご使用のとき。
- ふろ接続アダプター（循環口）の取付け位置が高いとき。
- 水位設定が高いとき。

お知らせ

- 「水位」は水面からふろアダプターの中心までの深さです。水位「1」で約10～13 cmで、以降約2.5 cmきざみで設定できます。
- はじめてお使いになるときは、めやすの湯量を4に設定し、
  湯量が少ない場合：設定を大きくする
  湯量が多い場合　：設定を小さくする
- リモコンの表示は下図のようになります。
  1 ～ 10 ～ 15
  （10以上は数値のみ変わります）
  （10→11は ▲ を3秒間押してください）
- ふろ温度表示の数字は「設定値」の表示です。浴そう内の温度とは多少異なる場合があります。

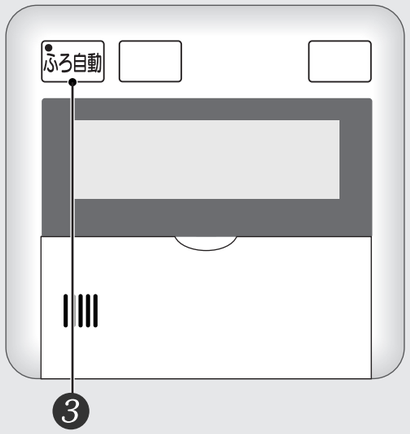
お願い

- 音声モニター中の ▼ ▲ はモニター音量設定となります。
  お湯の温度を設定する場合は再度 通話 を押して音声モニターを終了してください。
- 保温沸き上げ中は、水位が下がってもすぐには回復しない場合があります。
- 浴室リモコンの リモコン 切/入 を押すと、蛍光管表示部の明かりを消すことができますが、通常は「入」の状態でご使用ください。
- 浴室リモコンの蛍光管表示部の明かりが消えているときは、ふろ自動 は作動しませんが、台所リモコンの ふろ自動 を押すと、ふろ自動運転を開始します。

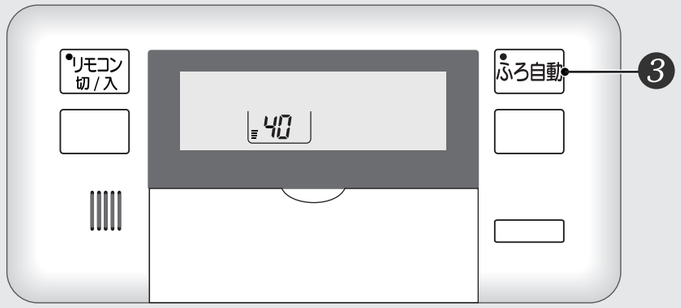
おふろに入る

お湯はりのしかた

<台所リモコン>



<浴室リモコン>



1 浴そうのせんをして
ふたをする

2 ふろ温度・湯量を確認する
（変更する場合☞33ページ）

3 ふろ自動 を押す

お湯はりをします

- ふろ自動ランプ点灯。

お湯はり完了の少し前に

もう少しでおふろが沸きます

お湯はりが完了すると…

おふろが沸きました

- 各リモコンに 保温 が表示され、自動保温、自動足し湯が行われます。

浴そうの残り湯の沸かし直し

浴そうに残り湯があるときに ふろ自動 を押す。

- 設定した湯量（水位）までお湯はりした後、設定したふろ温度まで追いだきします。

お知らせ

- 前回と同じ設定で使用するときは、湯量・温度を設定しなおす必要はありません。
- 台所リモコンでもお湯はりの開始ができます。（ふろ自動 を押す）
- 浴そう2階設置の場合は、お湯はり時間が長くなりますのでふろ予約をおすすめします。
- 台所リモコンの残湯量表示が ▯～▮ のときにふろ自動運転をすると、ふろの温度が設定よりも低くなったり、湯切れしたりすることがあります。
- ふろ自動運転中に台所リモコンの 予約 を押すと、ふろ自動運転が停止し予約に切り換わります。
- お湯はり完了予告時間はご使用の条件によって変わります。

お願い

- 浴そうのお湯を排水するときは ふろ自動 を再度押し、必ずふろ自動運転を停止させてください。
- ふろ自動運転中は ふろ自動 の「入」、「切」を行わないでください。ふろの湯量（水位）が設定よりも高くなったり、ふろの温度が低くなることがあります。

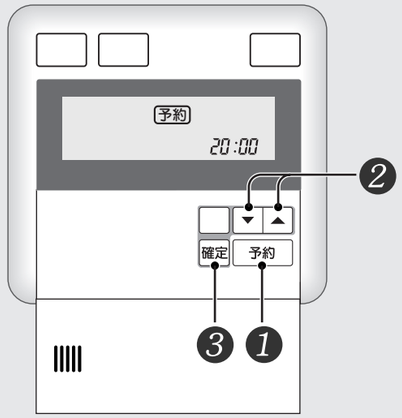
お知らせ

- 追いだきを行うとタンク内の湯温が若干下がります。また冬期に前日の残り湯を沸かし直すときなどはタンク内の湯温が大きく下がりますのでお湯切れに注意してください。

お湯はりの予約のしかた

お湯はり完了時間の予約ができます。予約する前にリモコンの現在時刻が合っているか確認してください。

<台所リモコン>



1 予約 を押す

2 予約時刻を設定する

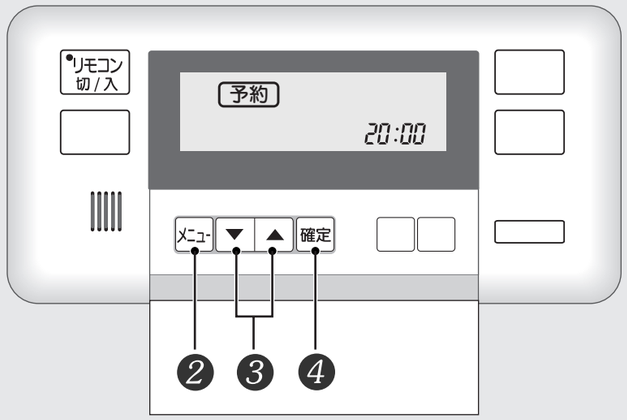
▼ ▲
戻る　進む

3 確定 を押す

ふろ自動の予約が設定されました

お湯はりの予約完了

<浴室リモコン>



浴室リモコンが「入」になっていることを確認してください。

1 ふろ湯量・温度を確認する
（変更する場合☞33ページ）

2 メニュー を4回押し、予約 に合わせる

ふろ自動の予約ができます。
確定スイッチを押してください。

3 予約時刻を設定する

▼ ▲
戻る　進む

4 確定 を押す

ふろ自動の予約が設定されました

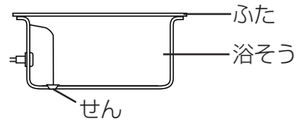
お湯はりの予約完了

お知らせ

- 前回使用時と同じ設定で使用するときは、再設定の必要はありません。
- 24時間以上先の予約はできません。
- 予約時は予約時刻より早く湯はり完了するようになっていますが、水圧等の条件により湯はりを完了する時刻は変化します。

お願い

- 浴そうのせん・ふたをしておいてください。

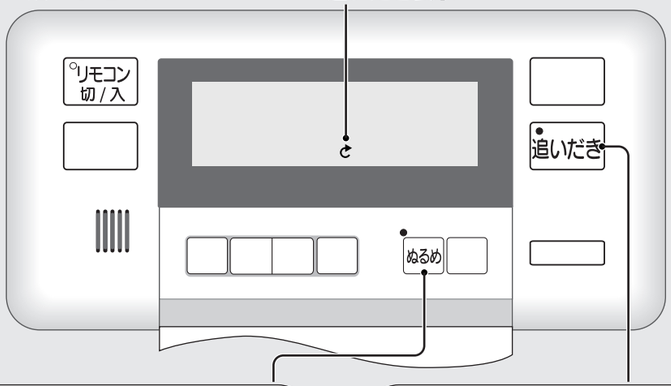


- 予約を取り消すときは、再度、台所リモコンの 予約 を押してください。
ふろ自動 を押すと、予約を取り消し、ふろ自動運転を開始します。

おふろに入る

入浴中の湯かげん調節のしかた

<浴室リモコン>　追いだき表示



ぬるくしたいとき

ぬるめ を押す

ぬるめランプが点灯。
約10 L水が注ぎ足されます。

ぬるめ運転をします

●途中で止めたいとき
再度 ぬるめ を押す

あつくしたいとき

追いだき を押す

追いだきランプと追いだき表示が点灯。

追いだきをします

おふろのお湯の温度が低いとき、設定温度まであつくなります。おふろのお湯の温度が低くないとき、設定温度＋2 ℃まであつくなります。

●途中で止めたいとき
再度 追いだき を押す

お知らせ

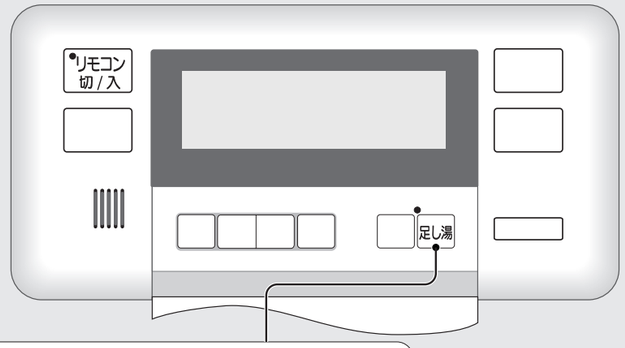
- 追いだきまたはぬるめ表示消灯後も約20秒間お湯や水が出ますが、異常ではありません。
- ぬるめ運転後、30分間は保温を行いません。
- 追いだき開始後しばらくの間、配管内に残っているぬるい水が出てくる場合があります。
- タンク内の湯温が低いため、追いだきランプが点滅するときは追いだきはできません。
- タンク内のお湯の温度が低い場合、又は浴そう内の温度が低い場合には追いだきが終了するまでの時間が長くなります。
- 追いだきを行うとタンク内の湯温が若干下がります。また冬期に前日の残り湯を沸かし直すときなどはタンク内の湯温が大きく下がりますので、お湯切れに注意してください。
- **追いだきを行うと、ふろ接続アダプター（循環口）からは設定温度よりも高い温度のお湯が出てきますので、ふろ接続アダプター（循環口）から離れてください。**

お願い

- 浴そう内の水位が循環アダプターより上の位置にないときは、追いだきをしないでください。間違って追いだきをした場合、運転開始約7分で、追いだきを停止します。
- 追いだき を押して追いだき中に熱くなりすぎた場合は、もう一度 追いだき を押してください。追いだきを停止します。

入浴中に湯量を多くする

<浴室リモコン>　**浴室リモコンが「入」になっていることを確認してください。**



足し湯 を押す

足し湯をします

足し湯ランプが点灯。
ふろ湯はり温度で約20 L足し湯されます。

●途中で止めたいとき
再度 足し湯 を押す

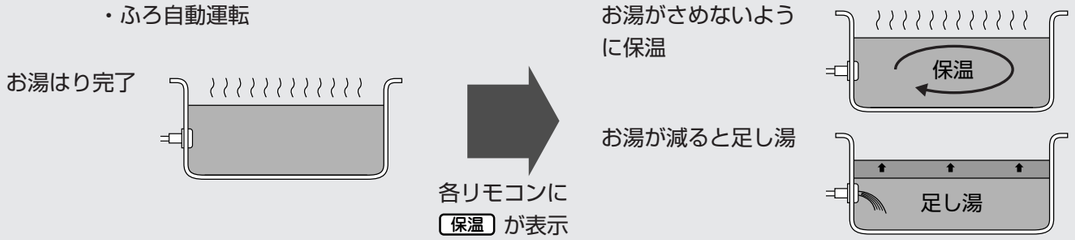
お知らせ

- 足し湯を始めてしばらくは水が出ますが、異常ではありません。

ふろ自動運転について

●お湯はりが完了すると、自動保温・自動足し湯をはじめます。

・ふろ自動運転



・ふろ自動運転は、お湯はり開始から1～6時間継続されます。➡ ふろ自動運転時間は変更できます。(☞38ページ)
自動運転時間が終了すると 保温 表示が消えます。
➡ **ふろ自動運転を続けたいときは再度 ふろ自動 を押してください。**

●ふろ自動運転を途中で止めるとき ➡ 再度 ふろ自動 を押す

お願い

- 浴そうの水を排水するときは、必ずふろ自動運転を停止させてください。

お知らせ

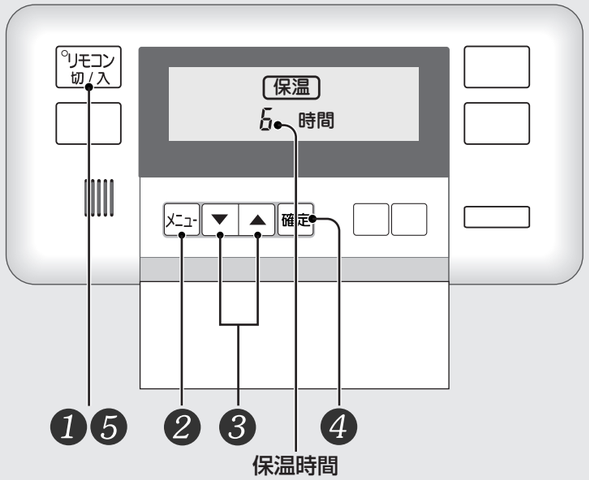
- **保温中にふろ接続アダプター（循環口）から設定温度より高い温度のお湯が出る場合がありますので、ふろ接続アダプター（循環口）から離れてください。**
- 追いだきランプが点滅しているときは保温はしません。

おふろに入る

ふろ自動運転時間の変更のしかた

ふろ自動運転時間とは[ふろ自動]を押してからの時間です。
ふろ自動運転時間はあらかじめ6時間に設定されていますが、変更することができます。
ふろ自動運転中はふろ自動運転時間の変更はできません。ふろのお湯はりを行う前に変更してください。

＜浴室リモコン＞



1 リモコンが「切」になっていることを確認する

2 [メニュー]を3回押す

保温時間が変更できます

3 [▼][▲]を押す

- 時刻表示部が 6（ふろ自動運転時間は6時間）になります。
- 1回押すごとに保温時間表示が変わります。
  ※表示が出ている間に変更してください。
  0～6の1時間きざみの設定ができます。

4 [確定]を押す

設定されました
※15秒間操作しないともどります。

5 [リモコン 切/入]を押す(リモコンを「入」にする)

お知らせ
- ふろ自動運転時間を変更した後は、変更後の時間設定となります。
- ふろ自動運転時間を0時間に設定すると、ふろのお湯はりが完了した時点でふろ自動運転を停止し、自動足し湯は行いません。
  また、ふろの湯温が、自動足し湯設定温度まで沸き上がらないことがあります。
- ふろ自動運転時間を1～6時間に設定すると、ふろ自動運転を開始してから1～6時間後にふろ自動運転を停止します。

浴室リモコンの呼び出しについて(ボイスリモコンのみ)

[呼出]を押す

♪ おふろで呼んでいます

台所リモコンにおふろで呼んでいることをお知らせします。

入浴剤について

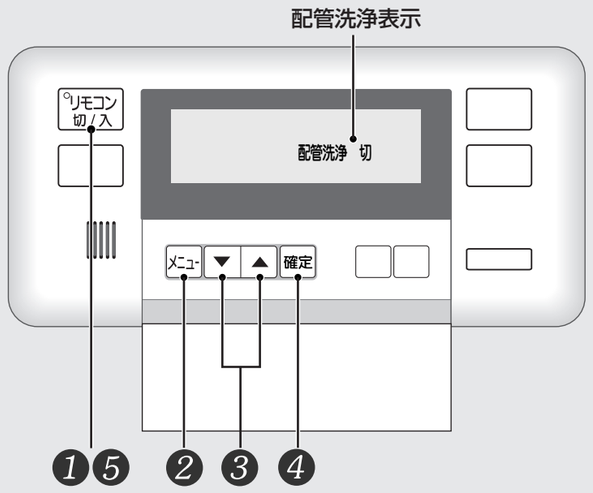
硫黄・酸・アルカリを含んだ入浴剤は、機器の故障の原因となりますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

ご使用になれる入浴剤の例

バスクリン・バスロマン・旅の宿・アワヘルス・登別カルルス・春夏秋湯・日本の名湯めぐり
桃源・温泉百影・バスフレンド・祭り湯めぐり・夢語・旅籠の湯・バスシャルム・バブ・トリム等

自動配管洗浄の変更のしかた

浴そうのお湯を抜く時に自動的に一定量の水を配管に流して、配管内の汚れた水を流します。
工場出荷時は「配管洗浄　切」の設定になっています。



1 [リモコン 切/入]を押し、リモコンを「切」にする

2 [メニュー]を6回押す

自動配管洗浄の入り切りが変更できます。

3 [▼]または[▲]を押し、「配管洗浄入」、または「配管洗浄　切」にする

- 押すごとに「配管洗浄入」「配管洗浄　切」になります

4 [確定]を押す

設定されました

5 [リモコン 切/入]を押し、リモコンを「入」にする

お知らせ
- 自動配管洗浄は配管内の汚れた水を流し出すものであり洗浄剤を用いたふろ配管の洗浄は必要です。
  点検とお手入れの「ふろ配管の洗浄」の手順に従って行ってください。(☞46ページ)

<コミュニケーションリモコンのみ>

通話のしかた

通話とは、浴室と台所で話ができる機能です。

浴室リモコンの「切」「入」にかかわらず通話できます。
通話スイッチを押し、メロディーが鳴っている間は通話ができません。
両方から同時に話すことはできません。相手の話が終わってから話してください。

浴室リモコンから通話する場合

1 通話 押す

- 通話ランプ・モニター点灯。
- 呼出しメロディーが鳴ります。（約2秒間）
- メロディーが鳴っている間は通話ができません。

2 メロディー終了後、話をする

- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 指を離したまま話をすることができます。
- 台所リモコン側で通話スイッチが押されている間は、通話ランプが点滅します。
  この間は、浴室リモコンからは話せません。
- 通話スイッチを離したら、音声モニター状態になります。

3 通話をやめるとき

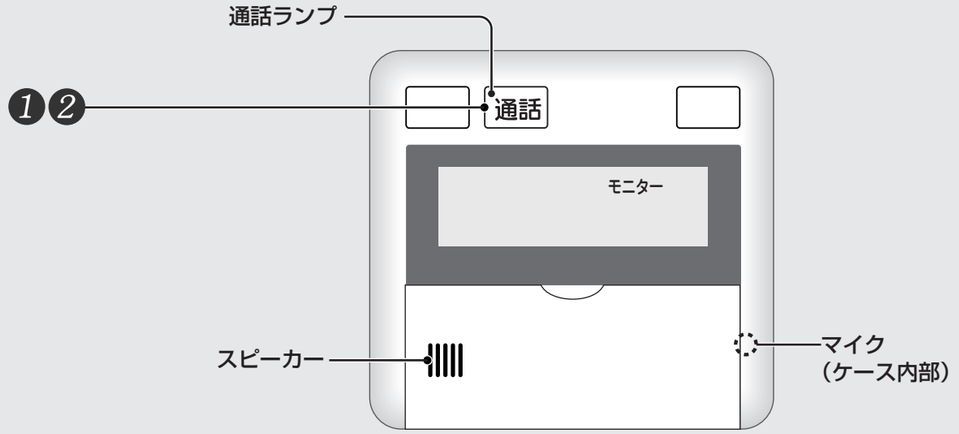
➡再度 通話 を押す

（通話ランプ・モニターが消灯）

お知らせ

- お湯はり・追いだき・ぬるめ・足し湯中でも音声モニター・通話ができます。
- 通話のときは➡リモコンから50 cm程度の距離で話してください。
  ➡メロディー・音声ガイド中は通話ができません。
- 言葉が途切れたり、声が小さいときは➡リモコンに近づいて話してください。

台所リモコンから通話する場合



1 通話 押す

- 通話ランプ・モニター点灯。
- 呼出しメロディーが鳴ります。（約2秒間）
- メロディーが鳴っている間は通話ができません。

2 メロディー終了後、押しながら話をする

点滅 通話

- 通話ランプ点滅。
- リモコンに向かって、ゆっくり話をしてください。
- 押し続けると最大3分間話をすることができます。
- 指を離すと➡通話ランプ点灯。この間、浴室からの話が聞こえます。
- 通話ランプ点灯中に再び台所リモコンから通話したいときは、再度
  通話スイッチを押しながら話してください。

3 通話をやめるとき

➡再度 通話 を押す

（通話ランプ・モニターが消灯）

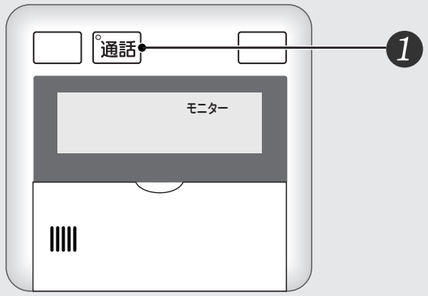
お知らせ

- ハウリング（キーンなどの大きな音）を起こす場合
  ➡台所リモコンと浴室リモコンの設置場所が近い場合などに発生することがあります。この場合、音声モニター・通話の音量を下げてください。
- 浴室リモコンを「切」にしても➡音声モニター・通話状態は解除されません。
- 使用環境・条件によっては、通話音声に雑音が混ざったり、一瞬途切れることがありますが、これはリモコンの故障ではありません。
- 通話中に浴室リモコンなどを操作すると、スイッチを押した音が相手に聞こえることがあります。
- コミュニケーションリモコン用以外のリモコンとは接続できません。

<コミュニケーションリモコンのみ>

音声モニターのしかた

● 音声モニターとは……浴室の様子を音により台所で確認する機能です。



● 浴室リモコンの「切／入」にかかわらず音声モニターができます。
● 浴室リモコンでも操作できます。

1 通話 押す

● 通話ランプ・モニター点灯。
● 浴室の様子が聞こえます。

● 約60分後、自動的に「切」になります。

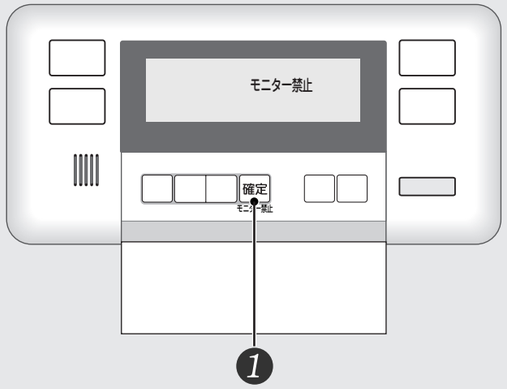
2 音声モニターをやめるとき

➡再度 通話 を押す

（通話ランプ・モニターが消灯）

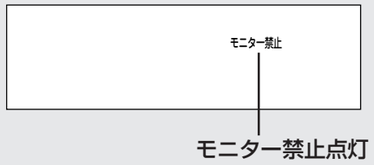
音声モニター禁止のしかた

● 音声モニターされたくない場合、モニター禁止の設定を浴室リモコンでできます。



1 確定 を押す

● モニター禁止点灯



● 約30分後、自動的にモニター禁止は取り消されます。

音声モニター禁止中はそれぞれのリモコンの通話スイッチを押しながら通話できます
（● 押し続けると、最大3分間で通話が切れます。
● 指を離すと、音声モニター禁止状態に戻ります。）

2 音声モニター禁止をやめるとき

➡再度 確定 を押す

（モニター禁止が消灯）

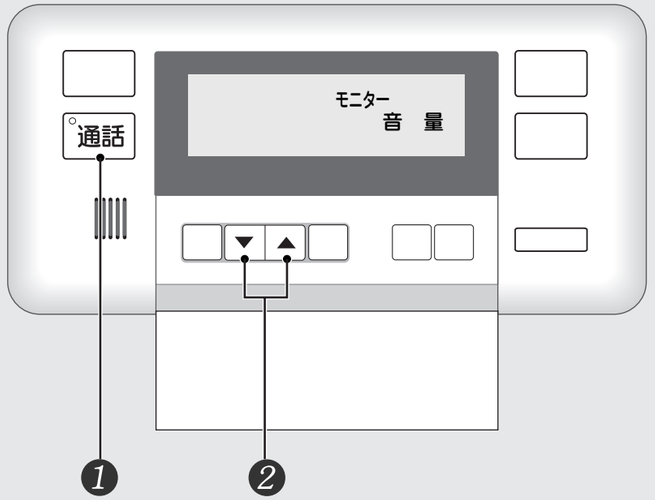
お知らせ

● 上記のほか、40～41ページのお知らせも併せてお読みください。

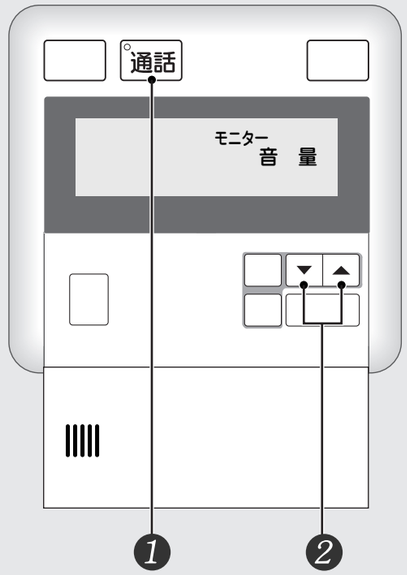
音声モニター・通話の音量設定のしかた

● 通話中に通話の音量を変更できます。

浴室リモコンの場合



台所リモコンの場合

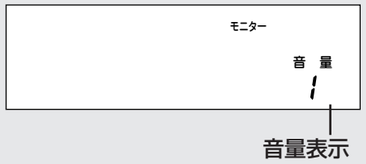


1 通話 押す

● 通話ランプ・モニター点灯。

2 ▼ ▲ 音量を設定する

● 設定後、約5秒たつと現在時刻に戻ります。



※ 停電したり、電源を切った後は、初期設定に戻ります。

● 初期設定は音量2に設定しています。
それぞれのリモコンで独自の音量が設定できます。
お知らせ音量とは別に設定できます。（お知らせ音量設定☞27、28ページ）

►音量1. 音量小
►音量2. 音量中
►音量3. 音量大

使いかた

点検とお手入れ

日常のお手入れ

本体

乾いた布でふくか、中性洗剤をうすめて布に含ませてふいてください。

・シンナーなどの溶剤を使わないでください。

リモコン

乾いた布または水をつけた布をかたく絞り、軽くふきとってください。

・ベンジン、シンナー、洗剤などは使わないでください。
・リモコン内部には電気部品が入っているので、水が入らないようにしてください。
・リモコンには水や汚水をかけないでください。

1ヵ月に1回のお手入れ

タンクの掃除

残湯量が少ないときに行ってください。

1 本体の操作部ふたを開け、
漏電しゃ断器 A（上側）を「切」にする

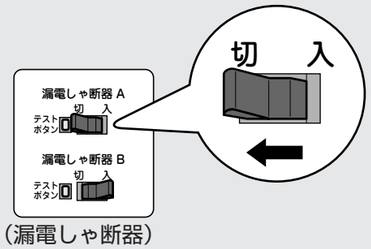
2 （本体下部）
給水元せんを閉め、逃し弁レバーを上げる
（☞45ページ「逃し弁の点検」）

3 （本体下部）
排水せんを開けて約2分間排水する
※お湯が出てくる場合があります。やけどにご注意ください。

4 （本体下部）
排水せんを閉め、逃し弁レバーを下げる

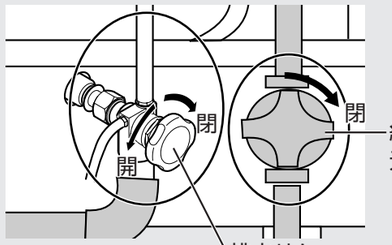
5 **給水元せんを開ける**

6 給湯せん(赤)を開き、水(お湯)が出ることを確認後
漏電しゃ断器 A（上側）を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める



（漏電しゃ断器）

（本体下部）



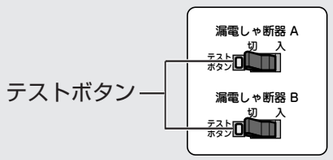
漏電しゃ断器の作動確認

B「深夜電力通電制御型」で契約の場合、23時～7時の間に行ってください。

1 本体の操作部ふたを開け、
テストボタン（2ヵ所）を押す

2 **漏電しゃ断器A、B（2ヵ所）が「切」になることを確認する**

3 **漏電しゃ断器A、B（2ヵ所）を「入」にし、本体の操作部ふたを閉める**



（漏電しゃ断器）

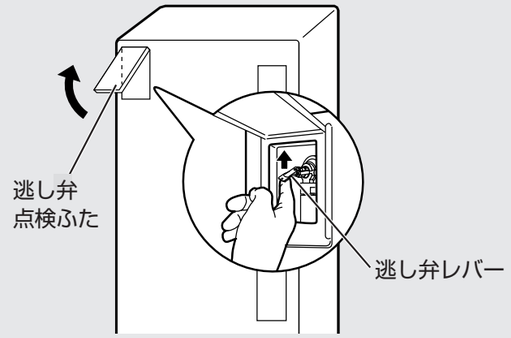
逃し弁の点検

作動点検

1 前板の逃し弁点検ふたを開け、
逃し弁レバーを上げる

2 **排水管からお湯（水）が出ることを確認する**

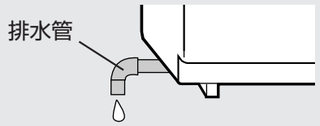
3 **逃し弁レバーを下げ、逃し弁点検ふたを閉める**



水漏れ点検

1 **沸き上げ中でないことを台所リモコンで確認する**

2 **排水管からお湯（水）が出ていないかを確認する**



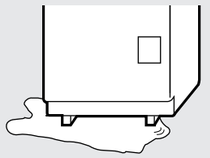
▶ **排水管からお湯（水）が出ている場合は…**
逃し弁レバーを数回上下に動かし、排水管からお湯（水）が止まるかを確認してください。

※上記を行っても排水管からお湯（水）が出つづけている場合は、販売店にご連絡ください。

沸き上げ中は、水からお湯になるときの膨張水が、配水管より排出されますが、故障ではありません。

本体の水漏れ点検

1 **電気温水器を設置した床面に水が漏れていないか確認する**
※特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。

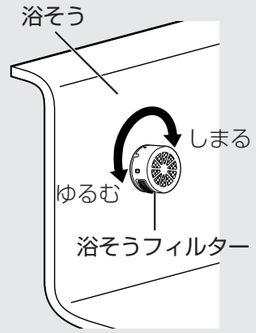


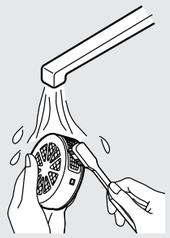
浴そうフィルターの掃除

1 **浴そうフィルターをはずす**

2 **ブラシなどで水洗いする**

3 **浴そうフィルターを必ず元の位置に取り付ける**
※浴そうフィルターがゆるんだ状態またははずれた状態で使用しないでください。



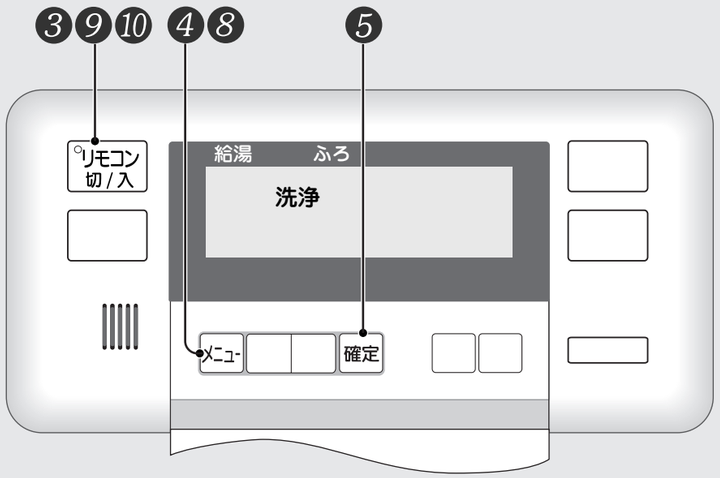


点検とお手入れ

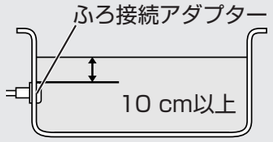
ふろ配管の洗浄（6ヵ月に1回）

6ヵ月ごとに浴室リモコンの「洗浄」が点灯しますので、次の手順でふろ配管の洗浄を行ってください。

＜浴室リモコン＞



1 浴そうのお湯がふろ接続アダプターより10 cm以上あることを確認する



※浴そうのお湯を、ふろ接続アダプター（循環口）の上から10 cm以上残しておく。

2 洗浄剤を浴そうに入れる

3 リモコン 切/入 を押し、「入」にする

4 メニュー を5回押す

洗浄運転の操作ができます。
確定スイッチを押してください。

5 確定 を押す

洗浄運転をします。

➡「洗浄中」が表示され、自動でふろ配管の洗浄が始まります。
約20分で洗浄が終了し、「洗浄中」表示が消えます。

お知らせ

- ご使用になれる洗浄剤
  - フロ釜洗い「ジャバ」1つ穴用
    最寄りのスーパー、ホームセンター等でお買い求めください。
  - 循環回路洗浄剤
    （品番　AD-3755-2A）
    お求めは、お買い上げの販売店にご相談ください。

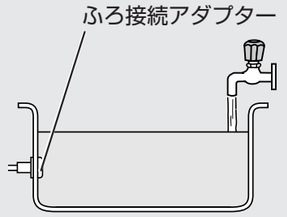
お願い

- 汚れがひどい場合は、繰り返し行ってください。
- 洗浄しないで「洗浄」表示を消したいとき

1. 浴室リモコンが「入」になっていることを確認する
2. メニュー を5回押す
3. 確定 を押す
4. リモコン 切/入 を押し、「切」にする
5. リモコン 切/入 を押し、「入」にする

6 浴そうの水を排水する

7 混合水せんの給水せん（青）を開き、浴そうに水を入れる



※ふろ接続アダプター（循環口）の上まで水を入れてください。

8 メニュー を5回押し、確定 を押す

➡「洗浄中」が表示され、ふろ配管のすすぎが行われます。

9 約15分後、リモコン 切/入 を押す

➡すすぎを終了します。
「洗浄中」表示が消えます。

10 浴そうの水を排水し、浴そうおよび浴そうフィルターを掃除する （☞45ページ）

停電したときは

- リモコンの時刻表示が“0 00”で点滅します。

➡台所リモコンの 確定 を押してください。現在時刻の表示にもどります。

ふろ自動運転中の場合

- 停電が約30分以上続くとふろ自動運転が中止されることがあります。

➡ふろ自動 を押して、再度ふろ自動運転を行ってください。

沸き上げ中の場合

- 停電復帰後、沸き上げを再開します。（停電が長時間の場合は、設定湯量まで沸き上がらないことがあります。）

断水したときは

- 断水したときは断水が回復してから、お湯を使うとタンク内に汚れが入るおそれがあります。
  給水せん（青）をあけて、水を十分出して、汚れがなくなってからご使用ください。

点検とお手入れ

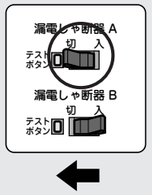
長期間使用しないときは（1ヵ月以上使わないとき）

電気温水器の水抜き

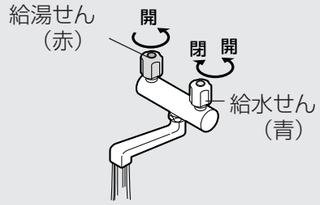
1 漏電しゃ断器 A（上側）を「切」にする

※漏電しゃ断器 B（下側）は「切」にしないでください。

漏電しゃ断器（本体操作部）



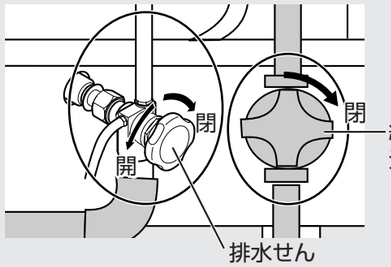
2 混合水せんの給湯せん（赤）・給水せん（青）を開き、水と混合しながら熱いお湯がなくなるまで給湯する



3 給水せん（青）・給水元せんを閉じる

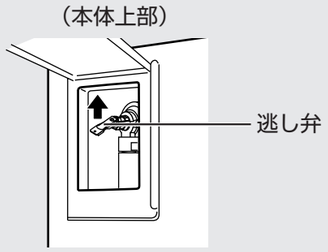
※給湯せん（赤）は開けておく

（本体下部）



4 逃し弁のレバーを上げる

（本体上部）



5 排水せんを開ける

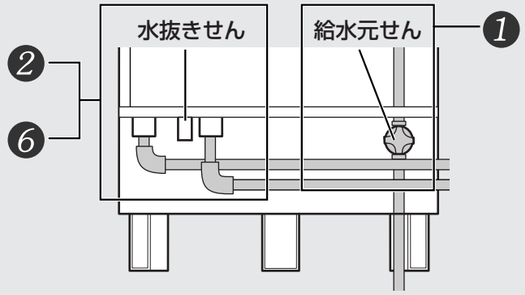
6 排水終了後、混合水せんの給湯せん（赤）・排水せんを閉じる

続けて、ふろ循環回路の水抜きを行ってください。

ふろ循環回路の水抜き

1 給水元せんを閉じ、浴そうのせんを抜き、浴そうを空にする

2 水抜きせん（1ヵ所）を開ける



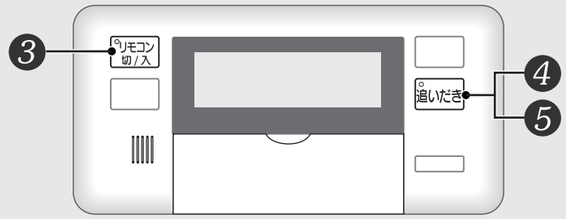
3 浴室リモコンの リモコン 切/入 を押し、「切」にする

4 追いだき を3秒間押す

追いだき が点滅する

5 水抜きせんから水が出なくなったら
再度 追いだき を押す

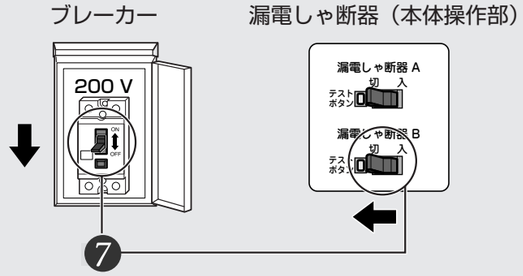
●追いだきランプが消灯します。



6 水抜きせん（1ヵ所）を閉める

7 ブレーカー、漏電しゃ断器B（下側）を「切」にする

ブレーカー　漏電しゃ断器（本体操作部）



▶ 再びご使用になるときは…

「ご使用前の準備」（☞16ページ）に従ってください。

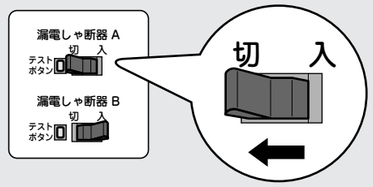
点検とお手入れ

長期間使用しないときは（つづき）

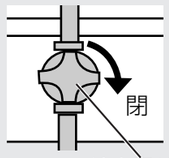
1ヵ月以内の、比較的短期間使用しないときは

1 本体操作部の漏電しゃ断器 A（上側）を「切」にする

漏電しゃ断器（本体操作部）



2 給水元せんを閉じる



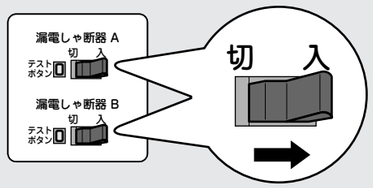
▶ 再びご使用になるときは…
タンク内の水を入れ替えてからご使用ください。

凍結のおそれがあるときは

1 水抜きをせずに、漏電しゃ断器 A、B（2ヵ所）を「入」にしておく

●ポンプを動作させ、保温します。

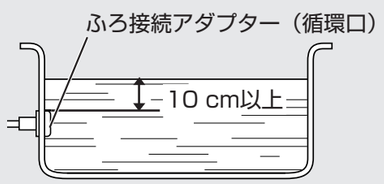
漏電しゃ断器（本体操作部）



※ 凍結予防として自動でポンプを動作させますので、水をふろ接続アダプター（循環口）の上から10 cm以上はった状態にしておいてください。

※浴そうに水をはらずに、ポンプが動作すると、ポンプが空運転し、ポンプの異常音がしたり、ポンプが故障するおそれがあります。

ふろ接続アダプター（循環口）



生活用水として使うときは

地震などの災害時や断水時に付属のホースを使って、タンク内の水を生活用水としてお使いください。
ただし、飲用はおさけください。

生活用水の使いかた

1 本体の漏電しゃ断器 A（上側）を「切」にする

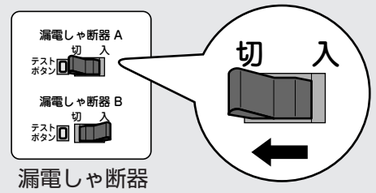
2 給水元せんを閉じる

3 逃し弁レバーを上げる

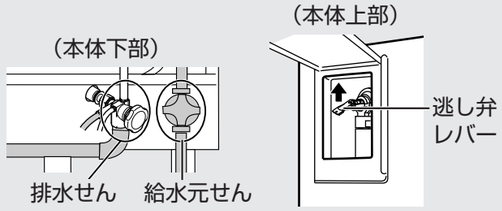
4 付属のホースを非常用水コックに差し込む

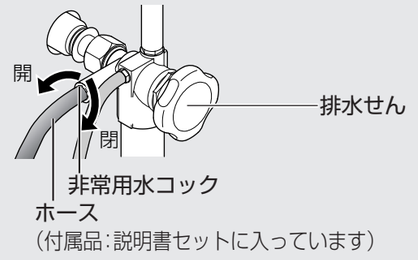
5 付属ホースを持って非常用水コックを左に回し、お湯または水を出す
※ホースから水（お湯）が出てきますが、使い始めは湯あかなどが出ますので、しばらく洗い流してください。

6 使用後は、
付属ホースを持って非常用水コックを右に回し、お湯または水をとめる



漏電しゃ断器





ホース
（付属品：説明書セットに入っています）

電気温水器を再使用するとき

1 混合水せんの給湯せん（赤）を開く

2 給水元せんを開く

3 混合水せんから水またはお湯が出たら、給湯せん（赤）を閉じる

4 本体の漏電しゃ断器 A（上側）を「入」にする

点検とお手入れ

定期点検契約について

電気温水器を長期間にわたり、安全で快適にご使用いただくためには3年に一度、専門技術者による定期点検整備を行ってください。
設置条件、使用条件・特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な交換が必要です。

■ 定期点検整備契約の実施について

- **お申込み先** ――お買い上げの販売店
- **点検整備内容** ――安全性の点検整備・システム機能の点検整備（配管など）・消耗・劣化しやすい部品の交換
- **定期点検費用** ――定期点検整備は、お客様のご負担によって実施します。消耗・劣化しやすい部品で交換した部品代もご負担いただきます。

■ 定期点検整備の主な内容

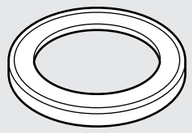
項　目	点検整備の内容
据付状態の点検	●配管接続部の水漏れ確認　●電気絶縁チェック
	●配管保温材の確認　●設置面の確認
機能部品の点検	●逃し弁の水漏れ確認　●循環ポンプの点検　●水道用減圧弁の点検
	●給水しゃ断弁の点検（屋内専用型のみ）　●逆流防止装置の動作確認
	●電気部品（配線、導通）動作の確認　●ゴムホースの点検
清掃・整備	●タンク下部のスケール沈殿物の排出　●減圧弁、ストレーナー（フィルター）の清掃
	●機能部品の清掃

■ 消耗部品について

ヒーターパッキン、ゴムホース、水道用減圧弁、逃し弁は消耗部品です。使用水質によっては、3年程度で消耗・劣化しやすい部品があります。
点検の結果、部品交換が必要なものは交換します。

ヒーターパッキン 本体部品

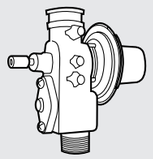
使用水質によっては、ヒーターパッキンが劣化し、水漏れの原因になりますので交換が必要です。ヒーターを取りはずした場合には水漏れ防止のため、ヒーターパッキンの交換が必要です。



ヒーターパッキン

水道用減圧弁 配管部品

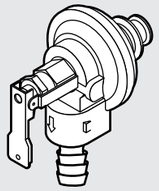
使用水質によっては、減圧弁のダイヤフラム（ゴム製）や弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



水道用減圧弁

逃し弁 配管部品

使用水質によっては、弁摺動部にスケールが付着したり、弁座シート部が磨耗して水漏れの原因になりますので交換が必要です。



逃し弁

Oリング 配管部品

パッキン 配管部品

使用水質によっては、Oリングおよびパッキンのシール性が悪化して水漏れの原因になりますので交換が必要です。

据付工事後の確認とふろの試運転のしかた

据付工事後の確認

次のチェック表にもとづき販売店（工事店）と共に点検をしてください。（地域や設置場所により工事の内容が若干標準配管例と異なることがあります）
なお、この表は後日、メンテナンスのときに必要となりますので保管しておいてください。

	点　検　項　目	チェック
安全項目	本体脚部は、アンカーボルトで固定していること	
	床に防水処理、及び漏水時の排水処理をしていること	
	漏電しゃ断器は、テストボタンで「切」になること	
	アース（接地）工事は、接地抵抗100 Ω以下のこと	
	本体上部は強度のある壁に固定していること	
	近くにガス類容器や引火物を置いていないこと	
本体まわり	コンクリート基礎台を設けていること	
	点検スペースは前部80 cm・上部25 cm以上のこと	
	本体まわりの給水接続部に給水元せんが取り付けてあること	
配管まわり	金属配管の場合、給水・給湯配管・ふろ配管に絶縁パイプを使用のこと	
	給水・給湯配管・ふろ配管の水漏れはないこと	
	保温工事を施していること	
	凍結地域では、加温工事を施していること	
	部品をはずしやすいようにユニオン継手を使用していること	
	排水せん・漏水センサー（屋内専用型のみ）から排水溝へ配管していること	
	減圧弁および給水しゃ断弁（屋内専用型のみ）のストレーナーを掃除すること	
試運転	工事説明書の内容に従って電気温水器の試運転を確認すること	

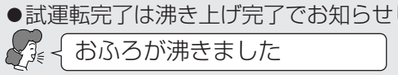
ふろの試運転のしかた

1 浴そうを空の状態にして、せんをする

2 浴室リモコンの［リモコン 切/入］を押し、浴室リモコンを「切」にする

3 浴室リモコンの［▼］を押しながら、［リモコン 切/入］を押し、約3秒間「ピピー」と鳴るまで押し続ける
- リモコンの時計表示部に「PIL」を表示し、試運転を開始します。

4 リモコンの時計表示部に「End」の表示が出るまで放置する
- 25分以上かかります。
- 試運転完了は沸き上げ完了でお知らせします。



5 浴そうの湯量を確認する
- 湯量（水位）のめやすはふろ接続アダプター（循環口）より5～20 cmです。
  （上記のめやすは、浴そうの大きさ、形状によって変わります。浴そうが大きいと湯量（水位）が低くなります）
- ふろ湯量（水位）の設定表示部は1～5のいずれかの目盛を表示します。
- 水位は約2.5 cmきざみで、15段階の水位設定ができます。

6 再度［ふろ自動］を押す
- ふろ自動ランプ消灯。

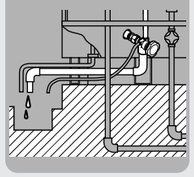
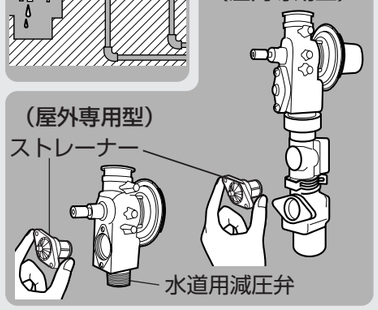
7 浴そうのせんを抜き、排水する

故障かな！？

こんなときは	故障ではありません
深夜通電時間になっても電気温水器のヒーターが入らない	200 Vが通電されていても通電制御型の電気温水器は、水温によってはすぐにヒーターに通電されないときがあります。 翌朝沸き上がっていれば正常です。
夜間通電時間帯の終了時間よりも早く沸き上がる	昼間の残湯があるときは、通電終了時間よりも早く沸き上がります。
湯切れした	「少なめ」「標準」の設定の場合、「多め」または「連続」に切り替えてください。（☞ 19ページ） 残湯量の設定が少なめ（50 L）の場合、多め（100 L）にしてください。（☞ 22ページ） 来客の多い日やお湯が多量に必要なときは「連続」の設定にしてください。（☞ 19ページ）
湯温が少し変化する	以下のときにお湯を出すと、若干湯温が低下することがあります。 ● 夜間通電時間帯で沸き上げを開始して、しばらくの間。 ● 昼間沸き増しをしたとき。
リモコンの時刻表示が、“0 00”で点滅している	停電したことを表示しています。台所リモコンの 確定 を押してください。押した後、現在時刻にもどります。 ブザーが鳴っているときは現在時刻を設定してください。（☞ 18ページ）
温水器から音がする	沸き上げ中やふろ自動運転では、ポンプが作動し、音がしますが異常ではありません。
寒い時、循環ポンプが動く音がする	凍結予防のため、ポンプが自動的に作動し、おふろのお湯を循環させる音で、異常ではありません。
お湯が出ない	断水していないか確認し、断水が回復したら、断水後の処置をする。（☞ 47ページ） 長期間の断水のときはタンク内へ給水されないため、お湯が出ません。下記の処置をしてください。 1.本体操作部の漏電しゃ断器 A、B（2ヵ所）を「切」にする。 2.給水元せんを閉じる。 再びご使用になるときは、漏電しゃ断器 B（下側）を「入」にし、給水元せんを開け、混合水せんからお湯または水が出ることを確認して、漏電しゃ断器 A（上側）を「入」にしてください。
逃し弁（安全弁）から水が漏れる	リモコンの「沸上中」表示が点灯中、電気温水器内の水が膨張し、逃し弁が作動して排水管から徐々に水またはお湯が出ますが、故障ではありません。
「おまかせ」設定または、「少なめ」設定で湯切れした	「おまかせ」設定では過去1週間のお湯の使用量からマイコンが湯量を設定します。ときどき多量のお湯を使用するなど、日々のお湯の使用量が不規則なときは、湯量不足になることがあります。 また、「少なめ」設定では沸き上がり湯温が75 ℃のため、冬期やお湯の使用量が多いときは、湯量不足になることがあります。 このようなときは、「標準」で使用してください。
浴そう水が青く見えたり、タオル、タイルの目地が青くなる	水中に含まれているわずかな銅イオンの影響によるものです。人体には害はありません。（☞ 23ページ）
追いだきランプが点滅している	タンク内の温度が低いため、追いだきはできません。

上記の処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

こんなときは販売店にご連絡ください。

こんなときは	処　置　方　法
「沸上中」が消灯中に排水管から水が漏れる  湯の出が悪くなったとき（屋内専用型） 	運転中以外（リモコンの「沸上中」が消えているとき）に排水口に水が漏れているときは、逃し弁の故障です。 逃し弁が故障したまま使用されますと、沸き上がったお湯が逃し弁より漏れて、湯量不足がおこったり、湯温が低くなったり、水道代・電気代が平常月より高くなることがあります。 逃し弁レバーを数回上下に動かし、レバーを下げたときに排水管からお湯（水）が止まるか確認してください。 ※上記操作を行っても排水管からお湯（水）が出続けている場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ストレーナーにごみなどがつまっていることがあります。 **販売店の方へ**　●掃除の方法 やけど防止のため次の手順で行ってください。 1. 漏電しゃ断器を「切」にした後、「長期間使用しないときは」（☞ 48ページ）の項に従って排水する。 2. 排水後、ストレーナーのふたをはずし、あみを掃除する。 3. ストレーナーのふたを閉め、「ご使用前の準備」（☞ 16ページ）の項に従って再びご使用ください。
漏水報知が鳴ったとき（屋内専用型のみ）	「ピーピー」とブザーが鳴り、台所リモコン、浴室リモコンに「F17」が表示されたときは、水漏れなどの異常があります。 下記処置を行った後、すみやかに販売店にご連絡ください。 1. 給水元せんを閉じる。 2. ブレーカーと漏電しゃ断器を「切」にする。 （漏水報知のブザー音が鳴りやみます。）
その他	● 台所リモコン、浴室リモコンの時刻表示部に下記の「異常表示」が出たとき ● 漏電しゃ断器が自動的に「切」になるとき　● 水漏れがあるとき まず給水元せんを閉めてから、販売店にご連絡ください。

異常表示について

対処してください

リモコンの時刻表示部に次のように表示された場合は、お客さまが対処できる異常表示です。それぞれの方法で対処してください。

リモコン時刻表示部	内　容	処　置　方　法
U22	湯はり中に断水した	①断水が復帰したことを確認する ②浴室リモコンの切/入スイッチを押す
U53	満水であふれる	①浴室リモコンの切/入スイッチを押す ②設定水位を下げて適量水位に設定しなおす ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U54	ふろ接続アダプター（循環口）上面まで残湯があったとき	①浴室リモコンの切/入スイッチを押す ②全量排水してから、再度お湯はりをする ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U51	お湯はり時の浴そうせんの閉め忘れ	①浴室リモコンの切/入スイッチを押す ②浴そうのせんをする ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
U61	タンク内のお湯切れで、お湯はり時の湯温が低い	①浴室リモコンの切/入スイッチを押して、異常を解除する ②台所または浴室リモコンの「湯量設定」を変えて湯切れしないようにする ③ふろ自動スイッチを押し、ふろ自動運転する
H96	タンクに水がない	①逃し弁レバーを上げて排水口から水が出ることを確認する ②漏電しゃ断器Aを「切」にして、約3秒後「入」にする

販売店に連絡してください

リモコンの時刻表示部に上記以外の表示が出た場合または上記の処置をしても直らない場合は異常です。
給水元せんを閉じ、ブレーカー、漏電しゃ断器を「切」にし、すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令（労安法）令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』（以下労安法）が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の『100 kPa以下』から『200 kPa以下』へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

労安法の規定において、従来の電気温水器は『簡易ボイラー』に区分されますが、高圧力型電気温水器は『小型ボイラー』に区分されます。

- 簡易ボイラー：労安法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
  設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期点検の義務もありません。
- 小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積2 m^2（40 kW）以下・水頭圧100 kPaを超え200 kPa以下の給湯器です。
  労安法が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期点検の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査も必要になります。
  ※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所をさします。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業主様が行うことになっています。

設置報告
事業主様が高圧力型電気温水器を設置する時は、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

定期自主検査
事業主様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

特別教育
事業主様が高圧力型電気温水器の取扱の業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。

事故報告
高圧力型電気温水器の事故などが発生したとき、事業主様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告 **適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条**

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかを確認する必要があるので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図※1及び小型ボイラー明細書※1ならびに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面※2を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。
小型ボイラーを同一事業所内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1　添付されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。
※2　事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査 **適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条**

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体	・製品本体からの水漏れの有無	**配管**	・損傷と漏れの有無
	・逃し弁の作動状態および漏れの有無		
	・漏電しゃ断器の作動状況		
	・タンクの手入れ		

検査方法の詳細は、取扱説明書の44～45ページ「点検とお手入れ」を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育 **適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条**

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の項目
1　ボイラーの構造に関する知識
2　ボイラーの付属品に関する知識
3　関係法令
4　小型ボイラーの運転および保守
5　小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。添付の取扱説明書を使用して、製品の取扱説明を行ってください。

事故報告 **適用法令→労働安全衛生規則第96条**

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

（1）ボイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条　1　事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）ならびに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条　1　事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においてはこの限りではない。
（1）小型ボイラーにあっては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
（2）小型圧力容器にあっては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は磨耗の有無
2　事業者は、前項ただし書の小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号にあげる事項について自主検査を行わなければならない。
3　事業者は、前2項の自主検査を行ったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条　1　事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のための特別の教育を行わなければならない。
2　前項の特別の教育は、次の科目について行うものとする。
1　ボイラーの構造に関する知識
2　ボイラーの付属品に関する知識
3　燃料及び燃焼に関する知識
4　関係法令
5　小型ボイラーの運転及び保守
6　小型ボイラーの点検
3　安衛則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。

（2）労働安全衛生規則

事故報告

第96条　1　事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。
（1～2略）
3　小型ボイラー、令第1条第5号の第一種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき
（以下略）

高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に適用される法令として以下のものがあります。
- 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）
- 労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号）
- 労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号）
- ボイラー及び圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号）

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体2年間、ヒーター3年間
ただし、“タンク”は5年間（水漏れ現象に適用）です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この電気温水器の補修用性能部品を、製造打ち切り後10年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

54～55ページの「故障かな！？」に従って調べていただき、直らないときは必ず漏電しゃ断器を「切」にし、給水元せんを閉め、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	電気温水器
品　番	
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/japan

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…**06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル パナソニック
修　理　ご　相　談　窓　口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北　海　道　地　区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
旭川 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151
帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477
函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東　北　地　区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712
秋田 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600
岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120
宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
山形 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
福島 福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎(0243)34-1301

首　都　圏　地　区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109
茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中　部　地　区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209
静岡 静岡市西島765 ☎(054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225
岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近　畿　地　区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225
奈良 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中　国　地　区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129
松江 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128
出雲 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133
浜田 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629
岡山 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162
広島 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
山口 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四　国　地　区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125
高知 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142
愛媛 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九　州　地　区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151
長崎 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658
大分 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815
宮崎 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213
熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067
天草 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
鹿児島 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
大島 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖　縄　地　区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。　0105

仕様

項目＼品番		DH-37G3QUB	DH-37G3QUBM	DH-46G3QUB	DH-46G3QUBM
適用電力制度		時間帯別料金対応通電制御型／深夜電力通電制御型／季節別時間帯別電灯契約通電制御型			
使用電源		単相200 V（リモコン、ふろ循環ポンプ、制御用）			
定格消費電力	温水器沸き上げヒーター	4.4 kW		5.4 kW	
	ふろ循環ポンプ	80 W／105 W（50/60 Hz）			
	その他	約28 W（運転停止時 台所リモコン、浴室リモコン点灯　約11 W／台所リモコン、浴室リモコン消灯　約6 W）			
	最大消費電力	4.5 kW		5.5 kW	
タンク容量		370 L		460 L	
沸き上がり温度		「標準」：約90 ℃ 「少なめ」：約75 ℃ 「おまかせ」：約75～90 ℃			
発熱体		シーズヒーター			
温度制御・水温検知		負特性サーミスター			
安全装置		漏電しゃ断器・自動温度調節器・温度過昇防止器・異常過圧防止器			
その他の装置		—	漏水センサー 給水しゃ断弁	—	漏水センサー 給水しゃ断弁
質量（　）内は満水時		74 kg（444 kg）	75 kg（445 kg）	83 kg（543 kg）	84 kg（544 kg）
自動お湯はり		ふろ水位設定：15段階（2.5 cmステップ） ふろ湯温設定：約36 ℃～48 ℃（1 ℃ステップ）、水温			
保温		ポンプ循環			
足し湯		水位センサー検知方式　約2.5 cm以上の水位低下により自動足し湯			
給湯湯温		湯温設定：約32、35、38 ℃～約47 ℃（1℃ステップ）、60 ℃			
付属品		ホース（非常用水用）			
リモコンセット（別販品）		ボイスリモコン：DH-RQV3W コミュニケーションリモコン：DH-RQC3W			
アース棒（別販品）		品番　AD-3200			

項目＼品番		DH-37G3QUB・DH-37G3QUBM	DH-46G3QUB・DH-46G3QUBM
標準消費電力量※	標準「約90 ℃」設定	約36 kWh／日	約45 kWh／日
	少なめ「約75 ℃」設定	約21 kWh／日	約27 kWh／日

※標準消費電力量は、沸き上げ温度90 ℃・給水温度15 ℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。
沸き上げ温度70 ℃・給水温度24 ℃の条件で、タンク全量を1回沸き上げたときの値です。

愛情点検　長年ご使用の電気温水器の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 運転中以外に排水管から水が漏れる。
- 本体、配管、ホースから水が漏れる。
- 漏電しゃ断器が自動的に「切」になる。
- その他の異常や故障がある。

▶ 以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検を依頼してください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品番	DH-
	販売店名	☎（　）　－	お客様ご相談窓口	☎（　）　－

松下電器産業株式会社　リビングサポートシステム事業部
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800番地

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）2003

この取扱説明書は
再生紙を使用しています。
DH940A－A39P3
S0103N3025